食品表示基準について(新旧対照表)

			改	正後(新)						강	文正前(旧)		
食品	表示基準につ	ついて (平成2	27年3月30日注	肖食表第139号)			食品	品表示基準に	ついて(平成	27年3月30日泊	消食表第139号)		
(糸	紗関係)~	(附則) (日	路)				(糸	総則関係) ~	(附則) (略)			
別汤	系加物 1 -	- 1~添加物	1-6 (略)			別額	系 添加物 1 ·	一1~添加物	1-6 (略	<u>}</u>)		
別沒	系加物 2 -	- 1					別海	系 添加物 2 ·	- 1				
			既存添加	勿名簿収載品目リスト						既存添加	物名簿収載品目リスト		
番号	品 名 称 (略)	名 別 名	簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考	番号	名 称 (略)	名 別 名	簡略名又は 類別名	基原・製法・本質	用途	備考
2	アガラーゼ			<u>*</u>	酵素	Agarase	2	アガラーゼ			担子菌 (Coliolus) 又は細菌 (Bacillus, Pseudomonas) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Agarase
3	アクチニジン			<u>*</u>	酵素	Actinidin	3	アクチニジン			マタタビ科キウイ(Actinidia chinensis PLANCH)の果肉より、搾汁して得られたもの、又はこれを、若 時〜室温時水で抽出して得られたもの、若しくは腹 で濃縮して得られたものである。	酵素	Actinidine
4	(略)					1	4	(略)	ı	1	(1
5	アシラーゼ			<u>*</u>	酵素	Acylase	5	アシラーゼ			糸状菌(Aspergillus ochraceus, Aspergillus melleus)の培養液より、水で抽出して得られたもの、 冷時~窒息時除菌したもの、又はこれより、冷時エ タノールで処理して得られたものである。	酵素	Acylase
6	アスコルビン酸オ キシダーゼ		オキシダーゼ V.Cオキシダーゼ	<u>*</u>	酵素	Ascorbate Oxidase	6	アスコルビン酸オ キシダーゼ	アスコルベートオ キシダーゼ ビタンミンCオキ シダーゼ	オキンダーゼ V. Cオキシダーゼ	ウリ、カボチャ、キャベツ、キュウリ若しくはホウレンソウより、搾汁して得られたもの、冷時〜室温時かで抽出して得られたもの、冷時でトンで処理して得られたもの、又は糸状菌(Trichoderma lignorm)をしては放線菌(Epenicillium brefeldianum)の卓養液より、除菌後、濃縮して得られたものである。	酵素	Ascorbate oxidase
	L-アスパラギン		アスパラギン	<u>*</u>	調味料強化剤	L-Asparagine		L-アスパラギン		アスパラギン	植物性タンバク質を、加水分解し、分離して得られた ものである。成分はL-アスパラギンである。	強化剤	L-Asparagine
8	L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	<u>*</u>	調味料	L-Aspartic Acid		L-アスパラギン酸		アスパラギン酸	発酵又は酵素法により得られたものを、分離して得られたものである。成分は1-アスパラギン酸である。	調味料	L-Aspartic acid
9	(略)	(本市本)	リアーゼ	w	¥¥≠		9	(略)	アナーニケニ	リアーゼ	(m# (p.::11	至长 = 1	
10	α-アセトラクタートデカルボキシラーゼ	(月川乐)	リノーセ	<u>*</u>	酵素	Acetolactate Decarboxylase	10	α-アセトラクタ ートデカルボキシ ラーゼ		リアーセ	細菌 (Bacillus subtilis, Serratia) の培養液より 、室温時水で抽出して得られたものである。	野茶	Acetolactate decarboxylase
11	5'-アデニル酸	アデノシン5' リン酸	5' -AMP	<u>*</u>	強化剤	5'-Adenylic Acid	11	5'-アデニル酸	アデノシン5' リン酸	5'-AMP	酵母 (Candida utilis) の菌体より、水で抽出した杉 酸を酵素で加水分解した後、分離して得られたもの である。成分は5'-アデニル酸である。	強化剤	5'-Adenylic acid

12	アナトー色素 (ベニノキの種子 の被覆物から得ら れた、ノルビキシ		アナトー カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド	<u>×</u>	着色料	Annatto Extract	12	アナトー色素 (ベニノキの種子 の被覆物から得ら れた、ノルビキシ		アナトー カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド	ベニノキ科ベニノキ (Bixa orellane LINNE) の種子 の被覆物より、熱時油脂若しくはプロピレングリコ ールで抽出して得られたもの、室温時へキサン若し くはアセトンで抽出し、溶媒を除去して得られたも	着色料	Annatto extract
	ン及びビキシンを 主成分とするもの をいう。)		カロテノイド色素					ン及びビキシンを 主成分とするもの をいう。)		カロテノイド色素	の、又は独特アルカル性水溶液で抽出し、加水分解し、 中和して得られたものである。主色素はビキシン及びノルビキシンである。 黄色 ~ 橙色を呈する。		
13	(略)						13	(略)					
14	アミノペプチダー ゼ			<u>*</u>	酵素	Aminopeptidase	14	アミノペプチダーゼ			細菌 (Aeromonas caviae, Lactobacillus casei, Lactococcus lactis) の培養液より、分離して得られたものである。	酵素	Aminopeptidase
15	α-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	<u>**</u>	酵素	α-Amylase	15	α-アミラーゼ	液化アミラーゼ G3分解酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌(Aspergillus aureus,Aspergillus niger,Aspergillus oryzae),細菌(Alcaligenes latus,Arthrobacter,Bacillus amyloliquefaciens,Bacillus licheniformis,Bacillus stearothermophilus,Bacillus subtilis,Sulfolobus solfataricus)若しくは放線菌(酵素	α-Amylase
											Thermomonospora viridis)の培養液より、又は麦芽より、冷時〜室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの者しくは濃縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール者しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硝酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。		
16	β-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	β-Amylase	16	β-アミラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Aspergillus oryzae)、放線菌 (Streptomyces) 若しくは細菌 (Bacillus amyloliquefaciens, Bacillus polymyxa, Bacillus subtilis) の培養液より、又は麦芽若しくは穀類の種子より、冷時~室温時水で抽出して得られたもの若しくは濃縮して得られたもの、又は冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	β-Amylase
17	L-アラニン		アラニン	<u>×</u>	調味料強化剤	L-Alanine	17	L-アラニン		アラニン	タンパク質原料の加水分解又は発酵若しくは酵素法 により得られたものを、分離して得られたものであ る。成分は1-アラニンである。	調味料強化剤	L-Alanine
18	アラビアガム (アカシアの分泌 液から得られた、 多糖類を主成分と するものをいう。)	アカシアガム	アカシア	<u>**</u>	増粘安定剤	Gum Arabic Arabic Gum Acacia Gum	18	アラビアガム (アカシアの分泌 液から得られた、 多糖類を主成分と するものをいう。)	アカシアガム	アカシア	アカシア属植物 (Acacia senegal Willdenow又は Acacia seyal Delile) の分泌液を、乾燥して得られ た、又はこれを脱塩して得られた、多糖類を主成分と するものである。	増粘安定剤	Gum Arabic Arabic gum Acacia gum
19	(略)	L I				1	19	(略)	l.	l	<u> </u>		1
20	L-アラビノース		アラビノース	<u>×</u>	甘味料	L-Arabinose	20	L-アラビノース		アラビノース	アラビアガム、ガディガム、コーンファイバー又はデ ンサイのバルブ (シュガービートバルブ) の多糖類 (アラビナン等) を、加水分解し、分離して得られたも のである。 成分は-アラビノースである。	甘味料	L-Arabinose
21	L-アルギニン		アルギニン	<u>*</u>	調味料強化剤	L-Arginine	21	L-アルギニン		アルギニン	タンパク質原料の加水分解により又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分は1-アルギニンである。	調味料強化剤	L-Arginine
22	アルギン酸	昆布類粘質物		<u>×</u>	増粘安定剤	Alginic Acid	22	アルギン酸	昆布類粘質物		掲藻類 (Phaeophyceae) より、温時~熱時水又はアルカリ性水溶液で抽出し、精製して得られたものである。成分はアルギン酸である。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Alginic acid
23	アルギン酸リアー ゼ			<u>*</u>	酵素	Alginate Lyase	23	アルギン酸リアー ゼ			細菌 (Alteromonas macleodii, Flavobacterium maltivolum, Pseudomonas, Xanthomonas) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Alginate lyase
24	(暗各)						24	(略)					
25	アントシアナーゼ			<u>*</u>	酵素	Anthocyanase	25	アントシアナーゼ			糸状菌(Aspergillus oryzae、Aspergillus niger, Penicillium decumbens)の培養後より、又は麦芽岩 しくは穀類の種子より、冷時〜室温時水で抽出して 得られたもの又はこれを冷時エタノール又は含水エ	酵素	Anthocyanase

							Ш				タノールで処理して得られたものである。		
26	イソアミラーゼ	枝切り酵素		*	酵素	Isoamylase	26	イソアミラーゼ	枝切り酵素	1	細菌 (Bacillus, Flavobacterium odoratum,	酵素	Isoamylase
20		(X) 7 H J M			HIM	Tooday Tabo			12274134		Pseudomonas amyloderamosa) の培養液より、冷時~ 室温時除菌後、冷時~室温時濃縮して得られたもの である。	1778	Toodan, Tabe
27	(暗各)				1		27	(略)	I	1		1	I
28	(略)						28	(略)					
29	(略)						29	(略)					
30	(略)						30	(服务)					
31	イヌリナーゼ	イヌラーゼ		<u>*</u>	酵素	Inulinase	31	イヌリナーゼ	イヌラーゼ		糸状菌(Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Aspergillus phoenicis, Penicillium	酵素	Inulinase
											purpurogenum, Trichoderma)の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。		
32	(略)						32	(略)					
33	インベルターゼ	サッカラーゼ シュークラーゼ スクラーゼ		*	酵素	Invertase	33	インベルターゼ	サッカラーゼ シュークラーゼ スクラーゼ		糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus awamori, Aspergillus niger) 細菌 (Arthrobacter, Bacillus) 又は酵母 (Kluyveromyces lactis, Saccharomyces cerevisiae) の培養液より、治時~室	酵素	Invertase
											温時菌体を回収して得られたもの、冷時〜室温時水 若しくはアルカリ性水溶液で抽出して得られたもの 、冷時〜室温時機能して得られたもの、又はアセトン 若しくはアルコールで処理し、イオン交換処理後、ア セトン若しくはアルコールで処理及び透析除去した		
											ものである。_		
34	ウェランガム (アルカリゲネス	ウェラン多糖類		<u>*</u>	増粘安定剤	Welan Gum	34	ウェランガム (アルカリゲネス	ウェラン多糖類		グラム陰性細菌(Alcaligenes)の培養液より、分離 して得られた多糖類である。	増粘安定剤	Welan gum
	の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)							の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)					
35	ウコン色素	クルクミン	ウコン	*	着色料	Turmeric	35	ウコン色素	クルクミン	ウコン	ウコン (Curcuma longa Linné) の根茎から得られた	主 在料	Turmeric
30		ターメリック色素	ソ コン	<u>**</u>	有巴科	Oleoresin	30		ターメリック色素	9-2-2	、クルクミンを主成分とするものである。食用油脂を	有它作	oleoresin
	ら得られた、クル クミンを主成分と するものをいう。)	y Yyyy ⊡afe				Curcumin		ら得られた、クル クミンを主成分と するものをいう。)			含むことがある。		Curcumin
36	(略)	l l					36	(略)	l .			1	L
37	ウレアーゼ		アミダーゼ	<u>*</u>	酵素	Urease	37	ウレアーゼ		アミダーゼ	乳酸菌 (Lactobacillus fermentum) 又は細菌 (Arthrobacter) の培養液を、室温時水で抽出し、冷時エタノールで処理して得られたもの、又は濃縮し、微温時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	Urease
38	エキソマルトテト ラオヒドロラーゼ		アミラーゼ カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	Exomaltotetrao hydrolase	38	エキソマルトテト ラオヒドロラーゼ	G4生成酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	細菌(Pseudomonas stutzeri)の培養液より、室温時除菌し、膜で濃縮して得られたもの、又はこれをエタ ノールで処理して得られたものである。	酵素	Exomaltotetrao hydrolase
39	エステラーゼ			<u>×</u>	酵素	Esterase	39	エステラーゼ			動物の肝臓、魚類、糸状菌(Aspergillus)、細菌(Pseudomonas)若しくは酵母(Candida, Torulopsis)の培養液より、冷時~室温時水で抽出して得られたもの、除菌したもの若しくは濃縮したもの、又は冷時	酵素	Esterase
40	(開各)						40	(略)			〜室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理 して得られたものである。		
41	(略)						41	(服务)					
42	(略)						42	(略)					
43	(略)						43	(略)					
44	(略)	1		Luc	Terror make a dist		44	(略)	ı	I		what mis is the	
45	γ-オリザノール (米ぬか又は胚芽		オリザノール	<u>×</u>	酸化防止剤	γ-Oryzanol	45	γ-オリザノール (米ぬか又は胚芽		オリザノール	イネ科イネ(Oryza sativa LINNE)の種子より得られる米ぬか又は胚芽油より、室温時含水エタノール	酸化防止剤	γ-Oryzanol

_	1	1	1					,	1	,			
	油から得られた、							油から得られた、			及びn-ヘキサン又はアセトンで分配した後、含水エ		
	ステロールとフェ							ステロールとフェ			タノール画分から得られたものである。主成分はス	<u> </u>	
	ルラ酸及びトリテ							ルラ酸及びトリテ			テロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコール	€	
	ルペンアルコール							ルペンアルコール			とフェルラ酸のエステルである。		
	とフェルラ酸のエ							とフェルラ酸のエ					
	ステルを主成分と							ステルを主成分と					
	するものをいう。)							するものをいう。)					
46	(略)						46	(略)					
47	(略)						47	(略)					
48	(略)						48	(略)					
49	カオリン	白陶十.	不溶性鉱物性物質	*	製造用剤	Kaolin	49	カオリン	白陶十:	不溶性鉱物性物質	天然の含水ケイ酸アルミニウムを精製したものであ	製造用剤	Kaolin
											<u>る。</u>		
50	カカオ色素	ココア色素	カカオ	*	着色料	Cacao Color	50	カカオ色素	ココア色素	カカオ	アオギリ科カカオ (Theobroma cacao LINE) の種子	着色料	Cacao colour
	(カカオの種子か	, L,	フラボノイド	<u>**</u>		ododo obror		(カカオの種子か	/ L/K	フラボノイド	(カカオ豆) を発酵後、焙焼したものより、温時弱ア		ododo oorodi
	ら得られた、アン		フラボノイド色素					ら得られた、アン		フラボノイド色素	ルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたもので	- 3	
	トシアニンの重合		2 2 N 1 2 1 1 Lak					トシアニンの重合		2 2 N 12 1 1 LBR	ある。主色素はアントシアニンが熱により重合した	-	
	物を主成分とする							物を主成分とする			ものである。褐色を呈する。	=	
11	ものをいう。)				1			ものをいう。)			0.2 (0.20) Name ± 7.20		j
51	(略)	<u>I</u>	<u> </u>	I	1	1	51	(略)	<u> </u>	l .		1	1
51 52	(略)						52	(略)					
53							53						
53	(略) カタラーゼ	l	オキシダーゼ	lw	酵素	0 . 1	53	(略) カタラーゼ		オキシダーゼ	Photostatic by Josephili will block to a month	Tr.	0 + 1
54	カタラーセ		オキンターセ	*	酵素	Catalase	54	カタラーセ		オキンターセ	ブタの肝臓より、水で抽出して得られたもの、又は糸	酵素	Catalase
											状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus	3	
											awamori, Aspergillus foetidus, Aspergillus	3	
											niger, Aspergillus phoenicis, Penicillium	1	
											amagasakiense) 細菌 (Micrococcus lyzodeikticus)	<u> </u>	
											若しくは酵母(Saccharomyces)の培養液より、冷時	Ē	
											〜室温時水で抽出して得られたもの、温時溶菌後、除	3	
											菌し、冷時~室温時濃縮して得られたもの、又はこれ	<u>L</u>	
											を冷時エタノールで処理して得られたものである。		
55	活性炭			<u>**</u>	製造用剤	Active Carbon	55	活性炭			鋸屑、木片、ヤシ殻の植物性繊維質、亜炭又は石油等	製造用剤	Active carbon
	(含炭素物質を炭							(含炭素物質を炭			の含炭素物質を炭化後、賦活化を行って得られたも		
	化し、賦活化して							化し、賦活化して			のである。		
	得られたものをい							得られたものをい					
	う。)							う。)					
56	活性白土		不溶性鉱物性物質	*	製造用剤	Activated Acid	56	活性白土		不溶性鉱物性物質	酸性白土を硫酸処理して得られたものである。主成	製造用剤	Activated acid
						Clav					分は含水ケイ酸アルミニウムである。		clav
57	ガティガム		ガティ	<u>**</u>	増粘安定剤	Gum Ghatti	57	ガティガム		ガティ	ガティノキ (Anogeissus latifolia Wallich) の分	増粘安定剤	Gum ghatti
11	(ガティノキの分			-	11100011			(ガティノキの分			泌液から得られた、多糖類を主成分とするものであ	111111111111111111111111111111111111111	
11	泌液から得られ				1			泌液から得られ			3.	1	
11	た、多糖類を主成							た、多糖類を主成			<u>~0</u>		
11	分とするものをい				1			た、多幅頻で主成 分とするものをい					
11	方とりるものをい							ガとするものをい う。)					
EO	(略)	l		l	1	1	58	(略)		l		1	<u> </u>
58 59	(略) カードラン	ı	ブドウ糖多糖	<u>w</u>	増粘安定剤	Curdlan	58	(略) カードラン		ブドウ糖多糖	アグロバクテリウム属菌 (Agrobacterium biovar 1	1世本になったか)	Cundlen
59	カードフン (アグロバクテリ		ノトリ階多階	<u>*</u>		Curdian	59			ノトリ礎多階			Curdian
					製造用剤			(アグロバクテリ)又はリゾビウム属菌 (Rhizobium radiobacter) の	製造用剤	
	ウム又はアルカリ							ウム又はアルカリ			培養液から得られた、β-1,3-グルカンを主成分とす	-	
11	ゲネスの培養液か				1			ゲネスの培養液か			<u>るものである。</u>		
	ら得られた、β-							ら得られた、β-					
	1,3-グルカンを主							1,3-グルカンを主					
11	成分とするものを				1			成分とするものを					j
	いう。)							いう。)					
60	カフェイン(抽出		カフェイン	<u>*</u>	苦味料等	Caffeine (60	カフェイン(抽出		カフェイン	アカネ科コーヒー (Coffea arabica LINNE) の種子 (苦味料等	Caffeine (
П	物)				1	Extract)		物)			コーヒー豆) 又はツバキ科チャ (Camellia sinensis		extract)
П	(コーヒーの種子				1	I		(コーヒーの種子			0. KZE.) の葉より、水又は二酸化炭素で抽出し、分離	É	
П	又はチャの葉から				1]		又はチャの葉から			、精製して得られたものである。主成分はカフェイン		j
П	得られた、カフェ				1			得られた、カフェ			である。	1	j
1	コッシャいに、ペノエ	l		l .	ı	1	ц	111 シャいこ、 ルノエ		1	C 0/2 0/0	1	

П	10.22.401.1		1		Γ	1	11	4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 1 - 1	I	ı			1
	インを主成分とす るものをいう。)							インを主成分とす るものをいう。)					
61		カラギーナン			増料安定剤	Carrageenan	61	カラギナン	カラギーナン			増料安定剤	Carrageenan
	(イバラノリ、キ				1111000011			(イバラノリ、キ				THIS OCH	
	リンサイ、ギンナ	カラゲーナン						リンサイ、ギンナ	カラゲーナン				
	ンソウ、スギノリ							ンソウ、スギノリ	カラゲニン				
	又はツノマタの全							又はツノマタの全					
	藻から得られた、							藻から得られた、					
	ι-カラギナン、							ι-カラギナン、					
	κ-カラギナン及 び λ-カラギナン							κ-カラギナン及 び λ-カラギナン					
	を主成分とするも							を主成分とするも					
	のをいう。)							のをいう。)					
	加工ユーケマ藻		ユーケマ	*		Semirefined		加工ユーケマ藻		ユーケマ	カラギナン (イバラノリ属 (Hypnea)、キリンサイ属		Semirefined
	類					Carrageenan		類		- , , ,	(Eucheuma)、ギンナンソウ属 (Iridaea)、スギノ		carrageenan
	795					Processed					リ属 (Gigartina) 又はツノマタ属 (Chondrus) の藻		Processed
						Eucheuma Algae					類の全藻から得られた、ι-カラギナン、κ-カラギナ		eucheuma algae
						Processed Red					ン及び λ-カラギナンを主成分とするものをいう。)		Processed red
						Algae					の一つである。_		algae
	精製カラギナン	_	紅藻抽出物	<u>*</u>		Purified		精製カラギナン		紅藻抽出物	カラギナン (イバラノリ属 (Hypnea) 、キリンサイ属		Purified
						Carrageenan					(Eucheuma) 、ギンナンソウ属 (Iridaea) 、スギノ		carrageenan
						Refined					リ属 (Gigartina) 又はツノマタ属 (Chondrus) の全		Refined
						Carrageenan					藻から得られた、ι-カラギナン、κ-カラギナン及び		carrageenan
											である。ショ糖、ブドウ糖、マルトース、乳糖又はデ		
	7		. ,	3.11. (A) 5.11. (A) 4.12. (A) 4.14. (A)				, white-La		. ,	キストリンを含むことがある。		D 1 1 1
	ユーケマ藻末		ユーケマ	ミリン科キリンサイ属 (<u>Eucheuma</u>) の全薬を、乾燥 、粉砕して得られたものである。		Powdered red algae		ユーケマ薬末		ユーケマ	ミリン科キリンサイ属 (<u>Bucheuma</u>) の全藻を、乾燥 、粉砕して得られたものである。		Powdered red algae
62	α-ガラクトシダ	メリビアーゼ	カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	α-	62	α-ガラクトシダ	メリビアーゼ	カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus	酵素	α-
	ーゼ					Galactosidase		ーゼ			awamori, Aspergillus niger, Aspergillus		Galactosidase
											phoenicis, Mortierella) 又は細菌 (Bacillus		
											stearothermophilus) の培養液より、室温時〜微温時水、酸性水溶液若しくはアルカリ性水溶液で抽出し		
											て得られたもの、冷時含水エタノールで処理したも		
											の、又は除菌後、濃縮して得られたものである。		
63	β-ガラクトシダ	ラクターゼ	カルボヒドラーゼ	*	酵素	β-	63	β-ガラクトシダ	ラクターゼ	カルボヒドラーゼ	動物の臓器より、冷時~微温時水で抽出して得られ	酵素	β-
	ーゼ			_		Galactosidase		ーゼ			たもの、又は糸状菌 (Aspergillus oryzae,		Galactosidase
											Penicillium multicolor, Rhizopus oryzae)、細菌((Lactase)
											Bacillus circulans, Streptococcus) 若しくは酵母		
											(Kluyveromyces fragillus, Kluyveromyces		
											lactis, Saccharomyces) の培養液より、冷時〜室温		
											時水で抽出して得られたもの、室温時自己消化処理		
											して得られたもの、冷時~室温時濃縮したもの、冷時		
											エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分		
											<u>埋して得られたもの、又は硫酸アンモニリム等で対</u> 画した後、脱塩処理して得られたものである。		
64	カラシ抽出物	(削除)	マスタード抽出物	*	製造用剤	Mustard	64	カラシ抽出物	マスタード抽出物		アブラナ科カラシナ (Brassica juncea LINE) の種	制浩田初	Mustard
104	(カラシナの種子	(13.41542)	1212 ГЛИНТИЯ	<u>~</u>	3×10/11/11	Extract	0-1	(カラシナの種子			子の脂肪油を除いた圧搾粕より、水蒸気蒸留により	ACCE/ IDMI	extract
Ш	から得られた、イ							から得られた、イ			得られたものである。主成分はイソチオシアン酸ア		
	ソチオシアン酸ア							ソチオシアン酸ア			リルである。		
	リルを主成分とす							リルを主成分とす					
	るものをいう。)							るものをいう。)					
65	カラメルI	カラメル	カラメル色素	<u>**</u>	着色料	Caramel I_(65	カラメルI	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物を、	着色料	Caramel I <u>(</u>
Ш	(でん粉加水分解				製造用剤	Plain caramel		(でん粉加水分解			熱処理して得られたもの、又は酸若しくはアルカリ	製造用剤	plain)
Ш	物、糖蜜又は糖類					<u>) </u>		物、糖蜜又は糖類			を加えて熱処理して得られたもので、亜硫酸化合物		
	の食用炭水化物を							の食用炭水化物を			及びアンモニウム化合物を使用していないものであ		
	熱処理して得られ							熱処理して得られ			<u>5.</u>		

					1	, ·		1	1	1	T		
	たものをいう。た							たものをいう。た					
	だし、「カラメル							だし、「カラメル					
	Ⅱ 」、「カラメル Ⅲ 」							Ⅱ」、「カラメルⅢ」					
	及び「カラメルIV」							及び「カラメルIV」					
	を除く。)							を除く。)					
66	カラメルⅡ	カラメル	カラメル色素	*	着色料	Caramel II (66	カラメルⅡ	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、	着色料	Caramel II (
11	(でん粉加水分解				製造用剤	Sulfite		(でん粉加水分解			亜硫酸化合物を加えて、又はこれに酸若しくはアル		caustic
	物、糖蜜又は糖類				3CCE) 13/13	caramel)		物、糖蜜又は糖類			カリを加えて熱処理して得られたもので、アンモニ	302/13/13	sulfite
	の食用炭水化物に					Caramer/		の食用炭水化物に			ウム化合物を使用していないものである。		process)
	亜硫酸化合物を加							亜硫酸化合物を加			グムに自物を使用していないものである。		process)
	えて熱処理して得							えて熱処理して得					
	られたものをい							られたものをい					
	う。ただし、「カラ							う。ただし、「カラ					
	メルIV」を除く。)							メルIV」を除く。)					
67	カラメルⅢ	カラメル	カラメル色素	*	着色料	CaramelIII (67	カラメルⅢ	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、	着色料	CaramelⅢ (
	(でん粉加水分解				製造用剤	Ammonia		(でん粉加水分解			アンモニウム化合物を加えて、又はこれに酸若しく	製造用剤	ammonia
	物、糖蜜又は糖類					caramel)		物、糖蜜又は糖類			はアルカリを加えて熱処理して得られたもので、亜		process)
	の食用炭水化物に							の食用炭水化物に			硫酸化合物を使用していないものである。		<u>postuacy</u>
Ш	アンモニウム化合							アンモニウム化合			MANUAL IN SECTION OF CO. 000		
Ш	物を加えて熱処理							物を加えて熱処理					
Ш	初を加えて熱処理 して得られたもの						11	初を加えて 無処理 して得られたもの					1
Ш													
	をいう。ただし、							をいう。ただし、					
	「カラメルIV」を							「カラメルIV」を					
	除く。)							除く。)					
68	カラメルIV	カラメル	カラメル色素	<u>**</u>	着色料	CaramelIV_(68	カラメルIV	カラメル	カラメル色素	でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に、	着色料	CaramelIV (
	(でん粉加水分解				製造用剤	Sulfite		(でん粉加水分解			亜硫酸化合物及びアンモニウム化合物を加えて、又	製造用剤	sulfite
	物、糖蜜又は糖類					ammonia		物、糖蜜又は糖類			はこれに酸若しくはアルカリを加えて熱処理して得		ammonia
	の食用炭水化物に					caramel)		の食用炭水化物に			られたものである。		process)
	亜硫酸化合物及び							亜硫酸化合物及び					
	アンモニウム化合							アンモニウム化合					
	物を加えて熱処理							物を加えて熱処理					
	して得られたもの							して得られたもの					
11-	をいう。)				takelet objectedni		I	をいう。)			151 6 4 5 5 6 11 11 11	(Male) aleaded	
69	カラヤガム		カラヤ	<u>*</u>	増粘安定剤	Karaya Gum	69	カラヤガム		カラヤ	カラヤ (Sterculia urens Roxburgh) 又はキバナワ	增柘女疋剤	Karaya gum
	(カラヤ又はキバ							(カラヤ又はキバ			タモドキ (Cochlospermum gossypium de Candolle)		
	ナワタモドキの分							ナワタモドキの分			の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするもの	1	
	泌液から得られ							泌液から得られ			<u>である。</u>		
	た、多糖類を主成							た、多糖類を主成					
	分とするものをい							分とするものをい					
Ш	5.)						11	5.)					1
70	カルナウバロウ	カルナウバワック	植物ワックス	*	ガムベース	Carnauba Wax	70	カルナウバロウ	カルナウバワック	植物ワックス	ブラジルロウヤシ (Copernicia prunifera	ガムベース	Carnauba wax
11.0	(ブラジルロウヤ				光沢剤	Brazil Wax	11.	(ブラジルロウヤ			H. E. Moore (Copernicia cerifera Martius)) の葉が		Brazil wax
	シの葉から得られ				700 013	DIGDII WOR		シの葉から得られ			ら得られた、ヒドロキシセロチン酸セリルを主成分	7 UV (71)	DIGDII WAA
	た、ヒドロキシセ)) V V V V V						た、ヒドロキシセ	J J 210 J J J X		とするものである。		
Ш											<u>とりるもいである。</u>		
	ロチン酸セリルを							ロチン酸セリルを					
Ш	主成分とするもの							主成分とするもの					
I⊢	をいう。)				1		11	をいう。)				ļ	
71	カルボキシペプチ			<u>*</u>	酵素	Carboxypeptida	71	カルボキシペプチ			イネ科コムギ(Triticum aestivum LINNE)の種皮及	酵素	Carboxypeptida
Ш	ダーゼ					se	11	ダーゼ			び果皮(ふすま)より、酢酸水溶液で抽出したもの、]	se
Ш											又は糸状菌 (Aspergillus) 若しくは酵母 (
Ш											Saccharomyces cerevisiae) の培養液より、冷時〜室		
											温時水で抽出して得られたもの若しくは冷時~室温		1
Ш							11				時濃縮し、冷エタノールで処理して得られたもので]
Ш							11				まる	1	
70	カロゼム本	(A)(I)(A)	<i>→ → →</i>	·	学 左业	Const. Com	70	カロゴム主	4444224	<i>→ → →</i>	<u>のか。</u>	* 女ない	Construction
72		_(削除)_	カロブ	<u>*</u>	着色料	Carob Germ	72	カロブ色素	カロブジャーム	カロブ	マメ科イナゴマメ (Ceratonia siliqua LINNE) の種	着色料	Carob germ
П	(イナゴマメの種		カロブジャーム		製造用剤	Color	11	(イナゴマメの種		フラボノイド	子の胚芽を、粉砕して得られたものである。淡黄色を	製造用剤	colour
11	子の胚芽を粉砕し		フラボノイド				Щ	子の胚芽を粉砕し		フラボノイド色素	<u>呈する。</u>		

	て得られたものを		フラボノイド色素					て得られたものを					
73	いう。) カロブビーンガム (イナゴマメの種 子の胚乳を粉砕		ローカスト	<u>*</u>	増粘安定剤	Carob Bean Gum Locust Bean Gum	73	(イナゴマメの種 子の胚乳を粉砕	ローカストビーンガム	ローカスト	イナゴマメ(Ceratonia siliqua Linné)の種子の胚別を粉砕し、又は溶解し、沈殿して得られたものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルト	増粘安定剤	Carob bean gum Locust bean gum
74 75	し、又は溶解し、沈 殿して得られたも のをいう。) (略) カンゾウ抽出物	カンゾウエキス	カンゾウ		甘味料	Licorice	74 75	し、又は溶解し、沈 殿して得られたも のをいう。) (略) カンゾウ抽出物	カンゾウエキス	カンゾウ	ースを含むことがある。 ウラルカンゾウ (Glycyrrhiza uralensis Fischer)	++n±-x:1	Licorice
	(ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウスはヨウカン ゾウの根又は根茎 から得られた、グリチルリチン酸を 主成分とするもの をいう。)	グリチルリチン	カンソウ甘味料 リコリス	<u> </u>	H SPACE	Extract		(ウラルカンゾ ウ、チョウカカン ゾウ又はヨウカン ゾウの根又は根茎 から得られた、グ リチルリチン酸を 主成分とするもの をいう。)	グリチルリチン	カンゾウ甘味料 リコリス	グルルンプク (Glycyrmiza drafetis): Pischer) 、チョウカカンノウ (Glycyrmiza inflata Batalin) 、ヨウカンソウ (Glycyrmiza glabra Linne)、又は それらの近縁植物の根若しくは根茎から得られた。 グリチルリチン酸を主成分とするものである。 本品 には、粗製物と精製物がある。	H 1994	extract
76 77	(略)	±\.='11===	1416-12 A =	w	ガムベース	0 11:11 #	76	(略)	土、ブリニロ カ	tribbarra ta es	±\ ~"11 = fr 1 1 1 1 1 1 1 1 1	±8) .	0 11:11
	カンデリラロウ (カンデリラの茎 から得られた、ヘ ントリアコンタン を主成分とするも のをいう。)	ス キャンデリラロウ キャンデリラワッ クス		<u>*</u>	光沢剤	Candelilla Wax	77	カンデリラロウ (カンデリラの茎 から得られた、ヘ ントリアコンタン を主成分とするも のをいう。)	ス キャンデリラロウ キャンデリラワッ クス		カンデリラ(Euphorbia antisyphilitica Zuccarini 又はEuphorbia cerifera Alcocer)の茎から得られ た、ヘントリアコンタンを主成分とするものである。	光沢剤	
78	キサンタンガム (キサントモナス の培養液から得ら れた、多糖類を主 成分とするものを いう。)	キサンタン 多糖 類 ザンサンガム	キサンタン	<u>×</u>	増粘安定剤	<u>Xanthan Gum</u>	78	キサンタンガム (キサントモナス の培養液から得ら れた、多糖類を主 成分とするものを いう。)	キサンタン 多糖類 ザンサンガム	キサンタン	キサントモナス属菌(Xanthomonas campestris)の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Xanthan gum
79	キシラナーゼ			<u>×</u>	酵素	Xylanase	79	キシラナーゼ			糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Trichoderma koningii, Trichoderma longibrachiatum reesei, Trichoderma viride) の培養液より、分離して得られたものである。		Xylanase
80	D-キシロース		キシロース	<u>*</u>	甘味料	D-Xylose	80	D-キシロース		キシロース	木材又はアオイ科ワタ (Gossypium arboretum LINE)、イネ科イネ (Oryza sativa LINNE)、イネ科サトウキビ (Saccharum officinarum LINNE) 若しくはイネ科トウモロコシ (Zea Mays LINNE) 又はその他同属植物の茎、実又は設より、熱時酸性水溶液で加水分解し、分離して得られたものである。成分はシキシロースである。	甘味料	D-Xylose
81	キチナーゼ			<u>*</u>	酵素	Chitinase	81	キチナーゼ			糸状菌(Trichoderma harzianum, Trichoderma reesei)、放線菌(Amycolatopsis orientalis, Streptomyces)又は細菌(Aeromonas)の培養液よりの一般では一般では、一般では、一般では、一般である。	酵素	Chitinase
82	(略) キトサナーゼ	1		W.	酵素	Chitagonaga	82 83	(略) キトサナーゼ			知書 (Assertance Bosillus) サドケル書 /		Chitagonaga
83	キトサナーゼ -			<u>*</u>	野茶	Chitosanase	83	* トサナーセ			細菌 (Aeromonas, Bacillus) 又は糸状菌 (Aspergillus niger, Trichoderma reesei, Trichoderma viride, Verticillium) の培養液より、除菌後、冷時〜微温時濃縮したもの又はエタノール 若しくはアセトンで処理して得られたものである。	野 素	Chitosanase
84	(昭各)				l	1	84	(略)	ī	ı	TO COTO CIÓ NAME ON COMO		1
85	(暗各)						85	(略)					
86	(昭各)						86	(略)					
ου	(m以)						00	(加口)					

87	(田各)					87	(昭)			
88	キラヤ抽出物 キラヤサポニン	サポニン	*	乳化剤	Quillaia	88	キラヤ抽出物 キラヤサポニン	サポニン	キラヤ (Quillaja saponaria Molina) の樹皮から得 乳化剤	Quillaia
	(キラヤの樹皮か		_		Extract		(キラヤの樹皮か		られた、サポニンを主成分とするものである。	extract
	ら得られた、サポ				Quillaja		ら得られた、サポ			Quillaja
	ニンを主成分とす				Extract		ニンを主成分とす			extract
	るものをいう。)						るものをいう。)			
89	(冊各)				•	89	(用各)			•
90	(冊各)					90	(田各)			
91	グァーガム グァーフラワー	グァー	<u>**</u>	増粘安定剤	Guar Gum	91	グァーガム グァーフラワー	グァー	グァー (Cyamopsis tetragonolobus Taubert) の種子 増粘安	定剤 Guar gum
	(グァーの種子か グァルガム						(グァーの種子か グァルガム		から得られた、多糖類を主成分とするものである。シ	
	ら得られた、多糖						ら得られた、多糖		ョ糖、ブドウ糖、乳糖又はデキストリンを含むことが	
	類を主成分とする						類を主成分とする		<u> </u>	
	ものをいう。ただ						ものをいう。ただ			
	し、「グァーガム酵						し、「グァーガム酵			
	素分解物」を除く。)						素分解物」を除			
92	(略)					92	(略)			1
92	(略)					93	(時)			
94	(略)					94	(時)			
95	(略)					95	(時)			
96	クチナシ青色素	クチナシ	<u>*</u>	着色料	Gardenia Blue	96	クチナシ青色素	クチナシ	クチナシ (Gardenia augusta Merrill又はGardenia 着色料	Gardenia blue
	(クチナシの果実	クチナシ色素	<u></u>				(クチナシの果実	クチナシ色素	jasminoides Ellis)の果実から得られたイリドイド	
	から得られたイリ						から得られたイリ		配糖体とタンパク質分解物の混合物に、β-グルコシ	
	ドイド配糖体とタ						ドイド配糖体とタ		ダーゼを添加して得られたものである。デキストリ	
	ンパク質分解物の						ンパク質分解物の		ン又は乳糖を含むことがある。	
	混合物にβ-グル						混合物にβ-グル			
	コシダーゼを添加						コシダーゼを添加			
	して得られたもの						して得られたもの			
 	をいう。)			Mr. for dad		11-	をいう。)	1		
97	クチナシ赤色素	クチナシ	<u>*</u>	着色料	Gardenia Red	97	クチナシ赤色素	クチナシ	クチナシ (Gardenia augusta Merrill又はGardenia 着色料	Gardenia red
Ш	(クチナシの果実 から得られたイリ	クチナシ色素					(クチナシの果実 から得られたイリ	クチナシ色素	jasminoides Ellis)の果実から得られたイリドイド 配糖体のエステル加水分解物とタンパク質分解物の	
	ドイド配糖体のエ						から侍られたイリ ドイド配糖体のエ		配储体のエステル加水分解物とタンハク負分解物の 混合物に、β-グルコシダーゼを添加して得られたも	
	ステル加水分解物						ステル加水分解物		のである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	
	とタンパク質分解						とタンパク質分解		2 CO2 DO 7 T2 T T Y X TON DUB C LLC C (N° O) DO	
	物の混合物にβ-						物の混合物にβ-			
	グルコシダーゼを						グルコシダーゼを			
	添加して得られた						添加して得られた			
ا ل ــــــــــــــــــــــــــــــــــــ	ものをいう。)						ものをいう。)			
98	クチナシ黄色素	カロチノイド	<u>*</u>	着色料	<u>Gardenia</u>	98	クチナシ黄色素	カロチノイド	クチナシ (Gardenia augusta Merrill又はGardenia 着色料	
Ш	(クチナシの果実	カロチノイド色素			<u>Yellow</u>		(クチナシの果実	カロチノイド色素		<u>yellow</u>
	から得られた、ク	カロテノイド					から得られた、ク	カロテノイド	及びクロセチンを主成分とするものである。デキス	
	ロシン及びクロセ	カロテノイド色素					ロシン及びクロセ	カロテノイド色素	トリン又は乳糖を含むことがある。	
	チンを主成分とす	クチナシ クチナシ色素					チンを主成分とする。	クチナシ クチナシ色素		
Ш	るものをいう。)	クナナン色素					るものをいう。)	クナナン色素		
99	(略)	ソロンノ	l	1	1	99	(昭各)	クロシン	1	l
100	(略)					100	(時)			
100	(明各)					101	(服务)			
102	グルカナーゼ	カルボヒドラーゼ	*	酵素	Glucanase	102	グルカナーゼ	カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus 酵素	Glucanase
		ヘミセルラーゼ				11-02		ヘミセルラーゼ	niger, Humicola insolens, Rhizopus delemar,	
								, - ,	Trichoderma harzianum, Trichoderma	
									longibrachiatum, Trichoderma viride) 、担子菌	
									(Pycnoporus coccineus) 、細菌 (Arthrobacter,	
									Bacillus subtilis, Pseudomonas paucimobilis)	
									若しくは酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷	
									時~微温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られ	

П											たもの、除菌後、冷時~室温時濃縮したもの、冷時		
											エタノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は除菌後、硫酸デンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。		
103	グルコアミラーゼ		アミラーゼ カルボヒ ドラーゼ	<u>*</u>	酵素	Glucoamylase	103	グルコアミラーゼ	糖化アミラーゼ	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	条状菌(Acremonium, Aspergillus, Humicola grisea, Rhizopus delemar, Rhizopus niveus)、担子菌(Corticium rolfsii)、細菌(Bacillus, Pseudomonas)又は酵母(Saccharomyces)の培養液より、冷時〜室温時水で抽出して得られたもの、冷時〜室温時線縮後、正夕ノール、含水エタノール若しくはアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分面した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Glucoamylase
104	(略)					•	104	(略)		•	1	ı	•
105	α-グルコシダー ゼ	マルターゼ		<u>×</u>	酵素	α -Glucosidase	105	α-グルコシダー ゼ	マルターゼ		条状菌 (Absidia, Acremonium, Aspergillus) 、細菌 (Bacillus, Pseudomonas) 若しくは酵母 (Saccharomyces) の培養液より、冷時〜室温時水で抽出して得られたもの、又は冷時〜室温時機縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。	酵素	α-Glucosidase
106	β-グルコシダー ゼ	ゲンチオピアーゼ セロビアーゼ		<u>×</u>	酵素	β –Glucosidase	106	β-グルコシダー ゼ	ゲンチオピアーゼ セロビアーゼ		ソテツ科ソテツ (Cycas revoluta THINB.) より、 治時~微温時水で抽出して得られたもの、又は糸状 薗 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Aspergillus pulverulentus, Penicillium decumbens, Trichoderma harzianum, Trichoderma longibrachiatum, Trichoderma reesei) 若しくは 細菌 (Bacillus) の培養液より、治時~微温時水で 抽出して得られたもの、治時~室温時濃縮したもの 又は治時エタノールで処 理して得られたものである。	酵素	β -Glucosidase
107		4-α-グルカノト ランスフェラーゼ 6-α-グルカノト ランスフェラーゼ		<u>×</u>	酵素	α - Glucosyltransf erase 4 - α - Glucanotransfe rase 6 - α - Glucanotransfe rase rase	107		4-α-グルカノト ランスフェラーゼ 6-α-グルカノト ランスフェラーゼ		細菌(Agrobacterium radiobacter, Arthrobacter, Bacillus, Erwinia, Pimelobacter, Protaminobacter, Pseudomonas, Serratia, Thermus) の培養液又はパレイショ(Solanum tuberosum LINN)の塊茎より、冷時〜室温時稼菌したもの、冷時水で抽出して得られたもの、又は冷時〜室温時機箱して得られたものである。なお、基質特異性により、4~αーグルカノトランスフェラーゼと呼ばれるものがある。	酵素	α - Glucosyltransf erase 4 - α - Glucanotransfe rase 6 - α - Glucanotransfe rase
108	ランスフェラーゼ 処理ステビア (「ステビア抽出物」から得られた、 α-グルコシルス テビオシドを主成 分とするものをい う。)		ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	<u>**</u>	甘味料	a- Glucosyltransf erase Treated Stevia	108	ランスフェラーゼ 処理ステビア (「ステビア抽出 物」から得られた、 α-グルコシルス テビオシドを主成 分とするものをい う。)	酵素処理ステビア	ステビア ステビア甘味料 糖転移ステビア	『ステビア抽出物』に、α-グルコシルトランスフェ ラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたも のである。α-グルコシルステビオシドを主成分とす <u>る。</u>		a- Glucosyltransf erase- treated stevia
109	ラーゼ			<u>*</u>	酵素	Glucose Isomerase	109	ラーゼ			糸状菌 (Aspergillus) 、 放線菌 (Actinoplanes missouriensis, Streptomyces griseofuscus, Streptomyces murinus, Streptomyces mupinus, Streptomyces mupinaeochromogenes, Streptomyces rubiginosus) 又 は細菌 (Bacillus coagulans) の培養液より、室温時水で抽出して得られたものである。	酵素	Glucose isomerase
110	グルコースオキシ ダーゼ			<u>*</u>	酵素	Glucose Oxidase	110	グルコースオキシ ダーゼ			糸 状 菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus niger, Penicillium)の培養液より、冷時〜室温時水	酵素	Glucose oxidase

											で抽出して得られたもの、又は冷時~微温時溶菌後、	_	
											除菌したもの、又は冷時~室温時濃縮後、冷時エタノ	•	
											ールで処理して得られたものである。		
111	グルタミナーゼ		アミダーゼ	*	酵素	Glutaminase	111	グルタミナーゼ		アミダーゼ	枯草菌(Bacillus subtilis)、糸状菌(Aspergillus	醛素	Glutaminase
1111	/// // -		, ,, -		1171	oraceminato.	111	77.7 (7		, ,, -)又は酵母 (Candida) の培養液より、冷時~室温時	117/	ora camira co
											水で抽出して得られたもの、冷時〜室温時濃縮した	-	
												∃	
											もの、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセ	1	
											トンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウ	2	
											ム等で分画した後、脱塩処理して得られたものであ	2	
											<u>る。</u>		
112	L-グルタミン		グルタミン	*	調味料	L-Glutamine	112	L-グルタミン		グルタミン	糖類を原料とした発酵により得られたものから分離	調味料	L-Glutamine
				<u> </u>	強化剤			_ , , , , ,			して得られたものである。成分はエーグルタミンであ		
					32410/19						Z) MI LI/11	
440	(mfe)				1	1	440	(mér)			<u>්රු</u>		l .
113	()						113	(略)					
114	(略)						114	(略)					
115	(略)						115	(略)					
116	(略)						116	(略)					
-			葉緑素	w	着色料	Cl. 1 1 1 1		クロロフィル	1	葉緑素	気を挟動上り得された。 カロロフィルギナ・ナポハト	* 生なむ	Cl. 1 1 1
117	クロロノイル		吳称系	<u>×</u>	有巴科	Chlorophy11	117	クロロノイル		朱祁糸	緑色植物より得られた、クロロフィル類を主成分と	着色料	Chlorophy11
11—				1		I	├──	L			するものである。食用油脂を含むことがある。		
118							118	(略)					
119	ケイソウ土		不溶性鉱物性物質	<u>*</u>	製造用剤	Diatomaceous	119	ケイソウ土		不溶性鉱物性物質	ケイソウに由来する二酸化ケイ素で、乾燥品、焼成品	製造用剤	Diatomaceous
						Earth		·			及び融剤焼成品があり、それぞれをケイソウ土(乾燥	į.	earth
11	İ				1		111	İ			品)、ケイソウ土(焼成品)及びケイソウ土(融剤焼	Ē	
											成品) と称する。 焼成品は、800~1,200°Cで焼成した		
											ものであり、融剤焼成品は、少量の炭酸のアルカリ塩	<u>.</u>	
											を添加して800~1,200℃で焼成したものである。		
120	(略)						120	(略)					
121	(m/r)												
1121	(略)						121	(略)					
121								(略)					
122	(略)	料本でなくいカテル		I w	高允/レ/[七 L 文	Proportion 11	122	(略)	料本がイバカマル		『ュゴ、本本人の場』 しつり 約 ロルデモフ し 川 、 か	新介/レ『七 (L 文)	Decemotically
-	(略) 酵素処理イソクエ	糖気移イソクエル		<u>*</u>	酸化防止剤			(略) 酵素処理イソクエ		酵素処理ルチン	『ルチン酵素分解物』とでん粉又はデキストリンの	酸化防止剤	
122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン	シトリン	酵素処理ルチン 糖転移ルチン	<u>*</u>	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン	糖転移イソクエル シトリン	酵素処理ルチン 糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス	酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分	シトリン		<u>*</u>	酸化防止剤		122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分			混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ	酸化防止剤	
122	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られ	シトリン		<u>*</u>	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ			混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ	酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分	シトリン		<u>×</u>	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分			混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ	酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られ	シトリン		*	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ			混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ	酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ	シトリン		<u>*</u>	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ	シトリン		混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ	№ 酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする	シトリン		<u>*</u>	酸化防止剤	Modified	122	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする	シトリン		混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ	酸化防止剤	modified
122	(略) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、αーグルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。)	シトリン		<u>*</u>	酸化防止剤	Modified	122 123	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。)	シトリン		混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ	酸化防止剤	modified
122 123 124	(略) 酵素処理イソクコ ルシトリン (アルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。)	シトリン	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルントリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。)	シトリン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ トリンである。		modified_ isoquercitrin
122	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (解的) から得られた、α-グルコシハイソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (略) 酵素処理へスペリ	シトリン	糖転移ルチン		酸化防止剤	Modified Isoquercitrin Enzymatically	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) 酵素処理ペスペリ	シトリン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ トリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶	酸化防止剂	modified isoquercitrin
122 123 124	(略) 酵素処理イソクコ ルシトリン (アルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。)	シトリン	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 精物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) のをいう。)	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ トリンである。		modified_ isoquercitrin
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (係) (際) の等処理へスペリ ジン	シトリン	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 精物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) のをいう。)	シトリン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランス フェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られ たものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシ トリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶		modified_ isoquercitrin
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (係) (際) の等処理へスペリ ジン	シトリン 糖転移へスペリジ ン	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) (略) 健 が (「ルチン酸素分 を ものをいう。) (略) (「ルチン酸素分 は で に、な で に、な で に、な に、な に、な に、な に、な に、な に、な に、な	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (ルチナン酵素分 解物」から得られ た、α-グルコシハ イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (係) 酵素処理へスペリ ジン (「ヘスペリジン」 にシクロデキスト	をおりと 糖転移へスペリジン 糖素移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」から得られ イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) 酵素処理へスペリ ジン (「ヘスペリジン」 にシクロデキスト	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキ		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とすさ ものをいう。) (係) 酵素処理へスペリジン (「ヘスペリジン、 にシクロデキスト リングルコシルト	シトリン 糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトす ものをいう。) (略) 酵素処理へスペリジン (「ヘスペリジン リングルコシルト	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシルイソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (係) 酵素処理ヘスペリジン (「ヘスペリジントリングルコシルトランスフェラーセ	シトリン 糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 精物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) 酵素処理へスペリジン (「ヘスペリジン」ト リングルコシルト ランスフェラーゼ	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシルイソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (係) 酵素処理へスペリジン(「ヘスペリジン」 ロングルコシルトリングルコシルトランスフェラーセを用いてグルコー	糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 精物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) 酵素処理へスペリジン にシクロデキスト リングルコシルト ランスフェラーゼ を用いてグルコー	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコルシトリン (「ルチン酵素分解物」、カーダルコシルイソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (係) 酵素処理へスペリジン(「ヘスペリジン、にシクロデキストリングルコシテルトセルフェアメアルーコースを付加して得られてがない。)	糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分解物」から特合れ た、αーグルコシル イソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (略) 酵素処理へスペリ ジン (「ヘスペリジン」 にシクグルコシルゼ シーグルコシーゼ を用いてグルコー スを付加して得ら	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123 124	(係) 酵素処理イソクコルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシルイソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (係) 酵素処理へスペリジン(「ヘスペリジン」 ロングルコシルトリングルコシルトランスフェラーセを用いてグルコー	糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 精物」から得られ た、α-グルコシル イソクエルシトリ ンを主成分とする ものをいう。) (略) 酵素処理へスペリジン にシクロデキスト リングルコシルト ランスフェラーゼ を用いてグルコー	糖転移へスペリジン	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified
122 123	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (ドリンドリンドリンドリンドリンドリンドリンドリンドリンドリンドリントリンシーでは分とするのをいう。) 「ドライン・アードリングルコシー・アードリングルコシー・アードリングルコー・アードリンスフェグルとである。)	糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン			Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分解物」から特合れ た、αーグルコシル イソクエルシトリンを主成分とするものをいう。) (略) 酵素処理へスペリ ジン (「ヘスペリジン」 にシクグルコシルゼ シーグルコシーゼ を用いてグルコー スを付加して得ら	整転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・		modified isoquercitrin Enzymatically modified hesperidin
122 123 124 125	(係) 酵素処理イソクコルシトリン (ドルチン酵素分解物)から得られた、α-グルコシルリンを主成分とするものをいう。) 「いったがない。) 「いったがないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	をトリン 糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤	Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルチン酵素分 解物」か移得られ た、α-グルコシル イソクエルシトする ものをいう。) (略) 酵素処理ペスペリジン (「ヘスペデシスト リングアンエラーゼ を充分のでがカフェラーゼ を充り加している。) 酵素処理ルチン	糖転移へスペリジン 糖転移ビタミンP	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてDグルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混	強化剤	modified isoquercitrin Enzymatically modified hesperidin Enzymatically
124 125	(係) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシル イソクエルシトリンを主成分とするのをい) 「ヘスペリジン (「ヘスペリジントリングフェラーセを付加してつら。) で素処理ルスでがいる。(油出物)	糖転移へスペリジン糖転移ビタミンP	糖転移ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分 情物」から得られた、α-グルコシルイソを主成からする。 (略) 酵素処理へスペリジン (「ヘクアルシトリング・スペリジン「トリングルフェルシトリングフェイルコランスでがフェイルである。) (略) ・ スペリジン「トリングルーランスでがしている。) ・ (計画物)	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 柑橘類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフ	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin
124 125	(係) 酵素処理イソクコルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシトリンを主成分とするのをいう。) (豚) 「ハスペリジントリングスフェラルトセランスフェグルトセースを付加して冷。) 酵素処理ルスペリジントリングスフェラルトセを用付加して冷。) では、カーボール・カーできない。	糖転移へスペリジン糖転移ビタミンP	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤	Modified Isoquercitrin Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分 情物」から得られた、α-クルコシルイソクエルシトリンと主成分とするものをいう。) (略) 酵素処理へスペリジン (「ヘクロディン」トリングトルンランスフでルコランスフでルコランスフでルカーであったいのをいう。) 酵素処理ルチン(ホーナンにおりのでは、カルたものをは、カーナーが表しますが、100円のでは、カーナーが表しますが、100円のでは、100円の	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はαーグルコシルイソクエルシトリンである。 田橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とで人粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1,4付加して得られたして得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてのである。	強化剤 酸化防止剤 強化剤	modified isoquercitrin Enzymatically modified hesperidin Enzymatically
124 125	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (ドルチン酵素分解物」から得られた、αーグルコシトするのをいう。) 「いチンを主な分う。) 「いクロコンリングルコンテンストリングルコテンストリングルコテンストリンスフマテントリンスフェルルで加している。) 「いかないが、カーローは、カ	結転移へスペリジン 標転移ビタミンP においチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルンドウトリン・アントリン・アントリン・アントリン・アントリン・アントリン・アントリン・アントリン・アントリンを主成いう。) 「略) 「ロシクルコン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 世橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1、4付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであ	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin
124 125	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (所物) から得られ た、α-グルコシトリ を主成分ら。) (所) 酵素処理へ ソクエルシトリ ものをいう。) (所) 酵素処理へ (「ヘスペリジン、トリンクスフェデュルト・ランスフマグレマシンスフェーーを を用かりかした。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をおりという。 を持ちなる。 を持ちなる。 を持ちないます。 を持ちないまするないます。 を持ちないます。 を持ちないますないます。 を持ちないまするないまするないます。 を持ちないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまする	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルナン酵素分 解物」か得られた、α-グルコシト イソクエルシトする ものをいう。) (略) 酵素処理ペスペリンシスト リングスペリンシスト リングスープリンシスト リングスープリンシスト ランスいて加して カルたもの理い れたもの理い れたもの理い は出地物) (「ルチンら得られた た、α-グルコシル	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。主成分はαーグルコシルイソクエルシトリンである。 田橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD・グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とで人粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1,4付加して得られたして得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてグルコースをα-1,4付加して得られていてのである。	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin
122 123 124 125	(係) 「麻素処理イソクエルシトリン (ドルチン酵素分類 から得られた。α-グルントリンと (下の大力を)。) 「麻素処理へ (ボックエルシトリンと主成分とするのをいう。) 「原素処理へ (ボックエル・アン・トリングスファン・アン・トリングスファン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン・アン	をおりという。 を持ちなる。 を持ちなる。 を持ちないます。 を持ちないまするないます。 を持ちないます。 を持ちないますないます。 を持ちないまするないまするないます。 を持ちないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまする	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (ドルチンドリン・(ドルチン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 世橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1、4付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであ	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin
122 123 124 125	(係) 酵素処理イソクコ ルシトリン (所物) から得られ た、α-グルコシトリ を主成分ら。) (所) 酵素処理へ ソクエルシトリ ものをいう。) (所) 酵素処理へ (「ヘスペリジン、トリンクスフェデュルト・ランスフマグレマシンスフェーーを を用かりかした。) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をおりという。 を持ちなる。 を持ちなる。 を持ちないます。 を持ちないまするないます。 を持ちないます。 を持ちないますないます。 を持ちないまするないまするないます。 を持ちないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまする	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエ ルシトリン (「ルナン酵素分 解物」か得られた、α-グルコシト イソクエルシトする ものをいう。) (略) 酵素処理ペスペリンシスト リングスペリンシスト リングスープリンシスト リングスープリンシスト ランスいて加して カルたもの理い れたもの理い れたもの理い は出地物) (「ルチンら得られた た、α-グルコシル	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 世橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1、4付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであ	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin
122 123 124 125	(係) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分解物」から得られた、α-グルコシトリンを主成分とするのをいう。) 「「ヘスペリジン (「ヘスペリジン・「ヘスペリジン・「ヘスペリジン・「ヘスペリジン・「ハスペリジン・「ルチンスファルロートランスファルロートランスファルロートランストリングルファン・ファンストリングスファルロートランストリングスファルロートランストリングスファルロートランスープルートランスープルートランストリングスファーロートランストリングスープルトランストリンストリンストリンストリンストリンストリーストリーストリンストリンストリンストリーストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリンストリン	をおりという。 を持ちなる。 を持ちなる。 を持ちないます。 を持ちないまするないます。 を持ちないます。 を持ちないますないます。 を持ちないまするないまするないます。 を持ちないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまする	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分別を含いた、 (「ルチン酸素分別を (下ルチントリン (下ルチントリる (下ルチントリる (下ルチントリる (下ルチントリス (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンのをいう。)	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 世橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1、4付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであ	強化剤 酸化防止剤 強化剤	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin
122 123 124 125	(係) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分れた、α-グルントリンを主成分とする (を) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	をおりという。 を持ちなる。 を持ちなる。 を持ちないます。 を持ちないまするないます。 を持ちないます。 を持ちないますないます。 を持ちないまするないまするないます。 を持ちないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまするないまする	糖転移ルチン ペスペリジン 酵素処理ルチン 類転移ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤養化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Rutin (Extract)	122 123 124 125 126	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分 情物」が得られた、α-グルコシルイソを主成分とするものをいう。) 「解数」が表していたがある。) 「いました。では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン 糖転移ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。	強化剤 酸化防止剤 強化剤 着色料	Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified hesperidin Enzymatically modified rutin (extract)
122 123 124 125	(係) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分れた、α-グルントリンを主成分とする (下の) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	#	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	<u>*</u>	強化剤酸化防止剤強化剤	Enzymatically Modified Hesperidin Enzymatically Modified Hesperidin	122 123 124 125 126	(略) 酵素処理イソクエルシトリン (「ルチン酵素分別を含いた、 (「ルチン酸素分別を (下ルチントリン (下ルチントリる (下ルチントリる (下ルチントリる (下ルチントリス (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンル・) (下ルチンをいう。)	糖転移へスペリジン 糖転移ピタミンP 糖転移ルチン (抽出物)	糖転移ルチン ヘスペリジン 酵素処理ルチン	混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルイソクエルシトリンである。 世橋類の果皮、果汁、又は種子より、アルカリ性水溶液で抽出して得られるヘスペリジンに、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてD-グルコースを付加して得られたものである。 「ルチン(抽出物)」とでん粉又はデキストリンの混合物に、シクロデキストリングルコシルトランスフェラーゼを用いてグルコースをα-1、4付加して得られたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであれたものである。主成分はα-グルコシルルチンであ	強化剤 酸化防止剤 強化剤 着色料	Enzymatically modified hesperidin

_				I	_	1				1	T	1	1
	物」を酵素分解し					Licorice		物」を酵素分解し			<u>ドである。</u>		licorice
	て得られた、グリ					Extract		て得られた、グリ					extract
	チルレチン酸-3-							チルレチン酸-3-					
	グルクロニドを主							グルクロニドを主					
	成分とするものを							成分とするものを					
	いう。)							いう。)					
129	(略)						129	(略)					
130	酵素分解レシチン		レシチン	*	乳化剤	Enzymatically	130	酵素分解レシチン		レシチン	アブラナ (Brassica rapa Linné又はBrassica napus	乳化剤	Enzymatically
100	(「植物レシチン」			<u>**</u>	3010/13	Decomposed	100	(「植物レシチン」		, .	Linné)若しくはダイズ (Glycine max Merrill) の種	1010/11	decomposed
	又は「卵黄レシチ					Lecithin		又は「卵黄レシチ			子から得られた植物レシチン又は卵黄から得られた		lecithin
	ン」から得られた、					Lectuiii		ン」から得られた、			卵黄レシチンから得られた、ホスファチジン酸及び		recruiiii
	フォスファチジン												
								フォスファチジン 酸及びリゾレシチ			リゾレシチンを主成分とするものである。酵素分解 植物レシチンと酵素分解り黄レシチンがある。		
	酸及びリゾレシチ										個物レンナンと時系分解卵更レンナンかめる。		
	ンを主成分とする							ンを主成分とする					
	ものをいう。)							ものをいう。)					
131	酵母細胞壁	(削除)	酵母細胞膜	<u>**</u>	増粘安定剤		131		酵母細胞膜		サッカロミセス属菌 (Saccharomyces cerevisiae) の		Yeast cell
	(サッカロミセス				製造用剤	<u>Wall</u>		(サッカロミセス			細胞壁から得られた、多糖類を主成分とするもので	製造用剤	<u>wa11</u>
	の細胞壁から得ら							の細胞壁から得ら			<u> </u>		
	れた、多糖類を主							れた、多糖類を主					
	成分とするものを							成分とするものを					
	いう。)							いう。)					
132	コウリャン色素	キビ色素	フラボノイド	*	着色料	Kaoliang Color	132	コウリャン色素	キビ色素	フラボノイド	イネ科コウリャン (Sorghum nervosum BESS.) の実	着色料	Kaoliang
	(コウリャンの種	2	フラボノイド色素					(コウリャンの種	2/11	フラボノイド色素	及び殻より、温時~熱時水、含水エタノール若しくは	12	colour
	子から得られた、		/ / · / · / · / · / · / · / · / · / · /					子から得られた、		2 2 4 2 T T BAK	酸性含水エタノールで抽出して得られたもの、又は		<u>001041</u>
	アピゲニニジン及							アピゲニニジン及			室温時~温時アルカリ性水溶液で抽出し、中和して		
	びルテオリニジン							びルテオリニジン			得られたものである。主色素はアピゲニニジン及び		
	を主成分とするも							を主成分とするも			ルテオリニジンである。赤褐色を呈する。		
											ルナオリニンンである。亦物色を至する。		
	のをいう。)	1	1 . 2 . 7/	***	akta da sini	 	l 	のをいう。)	1 . 2 . 7/4 -44	1 . 2 . 7/		and the stool	
133		カルミン酸色素	カルミン酸	<u>*</u>	着色料	<u>Cochineal</u>	133		カルミン酸色素	カルミン酸	エンジムシ (Dactylopius coccus Costa (Coccus	着色料	<u>Cochineal</u>
	(エンジムシから		コチニール			Extract		(エンジムシから		コチニール	cacti Linnaeus))から得られた、カルミン酸を主成		extract
	得られた、カルミ					Carminic Acid		得られた、カルミ			<u>分とするものである。</u>		Carminic acid
	ン酸を主成分とす							ン酸を主成分とす					
	るものをいう。)							るものをいう。)					
134	骨炭			<u>**</u>	製造用剤	Bone Charcoal	134	骨炭			ウシ (Bos taurus Linné) の骨を、炭化し、粉砕して	製造用剤	Bone charcoal
	(ウシの骨から得							(ウシの骨から得			得られたものである。主成分はリン酸カルシウム及		
	られた、炭末及び							られた、炭末及び			び炭末である。		
	リン酸カルシウム							リン酸カルシウム					
	を主成分とするも							を主成分とするも					
	のをいう。)							のをいう。)					
135	(略)		l		1	ı	135	- / / /		ı		1	I
136	(略)						136						
137	(略)						137	(略)					
138	(略)						138	(略)					
139	(略)			T		,	139	(略)				1	
140	コメヌカ油抽出物			<u>*</u>	酸化防止剤	Rice Bran Oil	140		コメヌカ油不けん		イネ科イネ (Oryza sativa LINNE) の種子より得ら	酸化防止剤	Rice bran oil
	(米ぬか油から得	化物				Extract	Ш	(米ぬか油から得	化物		れる米ぬか油の不けん化物より、エタノールで抽出		extract
Ш	られた、フェルラ							られた、フェルラ			して得られたものである。有効成分はフェルラ酸で		
	酸を主成分とする							酸を主成分とする			<u>ある。</u>		
	ものをいう。)						Ш	ものをいう。)					
141	(略)			I		'	141				1		
142	(略)						142	(略)					
	()	ユノロウナニュニ	과 / II 과 >	v	TRA Prince	l n11: o :		(1.14)	歩く11 歩う…っと	4.711.カン	プロン (2社 / 11 内) (nt		D112
143	サイリウムシード	サイリワムハスク	サイリワム	<u>*</u>	増粘安定剤		143		サイ リワムハスク	サイ リワム		唱柘女疋削	Psyllium seed
	ガム					Gum		ガム			皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。		gum
	(プロンドサイリ							(ブロンドサイリ			ショ糖, ブドウ糖, 乳糖, デキストリン又はマルトー		
11	ウムの種皮から得						Ш	ウムの種皮から得			スを含むことがある。		
	られた、多糖類を							られた、多糖類を					
	主成分とするもの							主成分とするもの					
			ı	l .						ı			

	をいう。)						П	をいう。)					
144	(略)				I		144	(略)	l	I.		ı	l .
145	(略)						145	(略)					
	酸性白土		不溶性鉱物性物質	*	製造用剤	Acid Clay	146			不溶性鉱物性物質	モンモリロナイト系粘土鉱物を精製して得られたも	製造用剤	Acid clay
140	政江口上		八十十十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八	<u>*</u>	秋垣川州	ACIU CIAY	140	政江口上		114日129以10月1110月	のである。主成分は含水ケイ酸アルミニウムである。	₩UE/ПЯ!	ACIU CIAY
147	酸性ホスファター	ホスホエ ノエステ		*	酵素	Acid	147	酸性ホスファター	ホスホモノエステ		糸状菌 (Aspergillus niger, Aspergillus oryzae)	磁表	Acid
171		ラーゼ		<u>^</u>	HANK	Phosphatase	1-11	ゼ	ラーゼ		の培養液より、冷時~温時水で抽出し、除菌した後、	DYN	phosphatase
	_	, -				Thospitatase		_			冷時〜室温時濃縮し、冷時エタノール若しくは含水		phosphatase
											エタノールで処理して得られたものである。	•	
148	(略)				ı	1	148	(昭各)			エクノールでは生じて行りれいこものである。		
149	(略)						149	()					
150	(M) シアノコバラミン	18 H 2 \ D10	V. B12	\ V	強化剤	0 11:	150	()40)	18 H 2 \ D10	V D10	放線菌(Streptomyces)又は細菌(Agrobacterium,	36/14/201	0 11:
150	シナノコハフミン	ピタミンB12	V. B12	<u>*</u>	5虫(心角)	Cyanocobalamin (削除)	150	シナノコハフミン	ピタミンB12	V. B12	Bacillus, Flavobacterium, Propionibacterium又は	強化剤	Cyanocobalamin
						(FINA)							Vitamin B12
											Rhizobium) の培養液より、分離して得られたもので		
151	3. = h	L= 7		W/	±20 .0 →	Cl. 11	151	3. 5 h	L- h		ある。成分はシアノコバラミンである。	-12) . S	Cl. 11
151	シェラック	セラック		<u>×</u>	ガムベース	Shellac	151		セラック		ラックカイガラムシ (Laccifer spp.) の分泌液から	ガムベース	Shellac
	(ラックカイガラ				光沢剤			(ラックカイガラ			得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレ	光沢剤	
	ムシの分泌液から							ムシの分泌液から			ウリチン酸とジャラール酸のエステルを主成分とす	;	
	得られた、アレウ					1		得られた、アレウ			るものである。白シェラック及び精製シェラックが		
	リチン酸とシェロ							リチン酸とシェロ			あり、ロウ分を除去していない含ロウ品及びロウ分		
	ール酸又はアレウ リチン酸とジャラ					1		ール酸又はアレウ リチン酸とジャラ			を除去した脱ロウ品がある。		
	ール酸のエステル							ール酸のエステル					
	を主成分とするも							を主成分とするも					
	のをいう。)	ObdatA	±1 ±	W/	1	Object		のをいう。)	£1 E		1. 1 12 - 1 2 Al - 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	-	
	白シェラック	(削除)	白セラック	<u>*</u>		(削除)		白シェラック	白セラック		カイガラムシ科ラックカイガラムシ (Laccifer		White shellac
			白ラック						白ラック		lacca KERR) の分泌する樹脂状物質を、温時アルカリ		
											性水溶液で抽出し、漂白したものより得られたもの		
											である。主成分はアレウリチン酸とジャラール酸又	:	
											はアレウリチン酸とシェロール酸のエステル等であ	2	
	dedutted a see a	Andrew A.	distributes are a		1	Olodes		distribut - we s	distributes are a		5	-	
	精製シェラック	(削除)	精製セラック	<u>*</u>		(削除)		精製シェラック	精製セラック		カイガラムシ科ラックカイガラムシ (Laccifer		Purified
											lacca KERR) の分泌する樹脂状物質を、室温時エタノ		shellac
											ールで抽出又は温時アルカリ性水溶液で抽出し、精	İ	
											製して得られたものである。主成分はアレウリチン	Ĺ	
											酸とジャラール酸又はアレウリチン酸とシェロール	í.	
											酸のエステル等である。		
152	(略)			r	Lacros	1	152	(略)	l a	I a =	T	Larre	T
153	ジェランガム	ジェラン多糖類	ジェラン	<u>*</u>	増粘安定剤	<u>Gellan Gum</u>	153		ジェラン多糖類	ジェラン		増粘安定剤	<u>Gellan gum</u>
	(シュードモナス					1		(シュードモナス			養液から得られた、多糖類を主成分とするものであ	2	
	の培養液から得ら							の培養液から得ら			<u>5.</u>		
	れた、多糖類を主							れた、多糖類を主					
	成分とするものを					1		成分とするものを					
	いう。)				<u> </u>	1		いう。)					
154	(略)						154						
155	(略)						155	(略)					
156	シクロデキストリ	(削除)	トランスフェラー	<u>**</u>	酵素	Cyclodextrin	156	シクロデキストリ		トランスフェラー		酵素	Cyclodextrin
	ングルカノトラン		ゼ			glucanotransfe		ングルカノトラン		ゼ	Corynebacterium)の培養液より、冷時〜室温時水		glucanotransfe
	スフェラーゼ					rase		スフェラーゼ	ンスフェラーゼ		で抽出して得られたもの、又は除菌後、冷時~室温		rase
						1					時濃縮したもの、又はこれを、含水エタノールで処		
	<u> </u>					<u></u>		<u> </u>			理して得られたものである。		
157	L-シスチン		シスチン	<u>*</u>	調味料	L-Cystine	157	L-シスチン	_	シスチン	動物性タンパク質(特に動物毛、羽毛)を、加水分解	調味料	L-Cystine
					強化剤						し、分離して得られたものである。成分はエーシスチン	強化剤	
						1					<u>である。</u>		
158	(略)				•	•	158	(略)	•	•		•	•
159	(略)						159	(略)					
160	5'-シチジル酸		5'-CMP	*	強化剤	5'-Cvtidvlic	160	()4/		5' -CMP	酵母 (Candida utilis) の菌体より、食塩存在下、水	強化剤	5'-Cvtidvlic
100	ローマ ノマ / ア田久		o um	<u>~</u>	MILMI	o cycruyiic	100	○ マノマ/14日久	l	O CHIL	FFF (valuated utility) v/图件より、反連門工工、小	は口口	o cytruyiit

	1	· ·		T	1		П	ı	Ī	Ī		_	1
						Acid					で抽出した核酸を酵素で加水分解した後、分離し、 得られたものである。成分は5'-シチジル酸である。	<u>C</u>	acid
161	(略)	Į.		<u> </u>			161	(昭各)			村づれのことでくながる。 は人がはの マランド放くのかる。	<u> </u>	
162	(略)						162	(略)					
163	焼成カルシウム (うに殻、貝殻、造 礁サンゴ、ホエイ、 骨又は卵殻を焼成 して得られた、カ ルシウム化合物を 主成分とするもの をいう。)		燒成Ca		強化剤製造用剤	Calcinated calcium	163	焼成カルシウム (うに殻、貝殻、造 礁サンゴ、ホエイ、 骨又は卵殻を焼成 して得られた、カ ルシウム化合物を 主成分とするもの をいう。)		焼成Ca		強化剤製造用剤	Calcinated calcium
	うに殻焼成カルシウム		うに殻カルシウム うに殻Ca	うに殻を、焼成して得られたものである。主成分は 酸化カルシウムである。		Calcinated sea urchin shell calcium		うに殻焼成カルシウム		うに殻カルシウム うに殻Ca	うに穀を、焼成して得られたものである。主成分に酸化カルシウムである。	t	Calcinated sea urchin shell calcium
	貝殻焼成カルシウム骨焼成カルシウ		貝カルシウム 貝Ca 骨Ca	<u>*</u>	-	Calcinated Shell Calcium Calcinated		貝殻焼成カルシ ウム 骨焼成カルシウ		貝カルシウム 貝Ca 骨カルシウム	貝殻を焼成して得られたものである。成分は酸化: ルシウムである。 獣骨又は魚骨を、焼成して得られたものである。成	<u>b</u>	Calcinated shell calcium Calcinated
	造礁サンゴ焼成 カルシウム		コーラルカルシウム ム コーラルCa サンゴカルシウム サンゴCa	イシサンゴ目の (Scleractinia) の造礁サンゴを、 焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシ ウムである。	-	Bone Calcium Calcinated coral calcium		る 造礁サンゴ焼成 カルシウム		骨Ca コーラルカルシウム コーラル Ca サンゴカルシウム サンゴCa	はリン酸カルシウムである。 イシサンゴ目の (<u>Scleractinia</u>) の造礁サンゴを、 焼成して得られたものである。主成分は酸化カルシ ウムである。	,	bone calcium Calcinated coral calcium
	乳清焼成カルシウム	ルシウム ホエイ第三リン酸 カルシウム ホエイリン酸三カ	ウム 乳清リン酸Ca ホエイリン酸カル	乳清 (酸カゼインホエイ) より乳清タンパクと乳糖を分離、除去したものを、精製し焼成して得られたものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate		乳清焼成カルシウム	乳清第三リン酸カ ルシウム ホエイ第三リン酸 カルシウム ホエイリン酸三カ ルシウム	ウム 乳清リン酸Ca ホエイリン酸カル	乳清 (酸カゼインホエイ) より乳清タンパクと乳糖 を分離、除去したものを、精製し焼成して得られた ものである。主成分はリン酸三カルシウムである。		Tricalcium phosphate
	卵殻焼成カルシ ウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	<u>×</u>		Calcinated Eggshell Calcium		卵殻焼成カルシ ウム		卵殻カルシウム 卵殻Ca	別競を焼成して得られたものである。主成分は酸 カルシウムである。	Ľ	Calcinated eggshell calcium
164	植物性ステロール (油糧種子から得 られた、フィトス テロールを主成分 とするものをい う。)	フィトステロール	ステロール	<u>*</u>	乳化剤	Vegetable Sterol	164	植物性ステロール (油糧種子から得 られた、フィトス テロールを主成分 とするものをい う。)	フィトステロール	ステロール	油糧種子を粉砕し、抽出して得られた植物性油脂。 り、室温時〜温時メタノール、エタノール、イソプ パノール、酢酸エチル、アセトン、又はヘキサンで 出したものより得られたものである。主成分はフ トステロールである。	1	Vegetable sterol
165	(略)			-	ı		165	(略)	•	•	•	1	•
166	(略)						166	(略)			.		
167	しらこたん白抽出物 (魚類の精巣から得られた、塩基性タンパク質を主成分とするものをいう。)	しらこ分解物	核たん白 しらこ	<u>*</u>	保存料	Milt Protein	167	しらこたん白抽出物 (魚類の精巣から得られた、塩基性 タンパク質を主成分とするものをいう。)	しらこ分解物	核たん白しらこ	アイナメ (Hexagrammos otakii Jordan et Starks, カラフトマス (Cheorhynchus gorbuscha (Walbau))、シロザケ (Oncorhynchus keta (Walbaum))、 ベニサケ (Oncorhynchus nerka (Walbaum))、 ツオ (Katsumonus pelamis (Linnaeus)) 又はニ ン (Clupea pallasii Valenciennes) の精巣から られた、塩基性タンパク質を主成分とするものでき る。		Milt protein
168	(略)				-		168	(略)					
169	(ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール 配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビオシド	ステビア ステビア甘味料	<u>×</u>	甘味料	Stevia Extract	169	(ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビオシド レバウジオシド	ステビア ステビア甘味料	ステビア (Stevia rebaudiana Bertoni) の葉から 出して得られた、ステビオール配糖体を主成分と るものである。	甘味料	Stevia extract
170	(略)						170	(略)					

171	スピルリナ色素	スピルリナ青色素	スピルリナ青	<u>*</u>	着色料		171	スピルリナ色素	スピルリナ青色素	スピルリナ青	スピルリナ (Spirulina platensis Geitler) の全薬	着色料	Spirulina
	(スピルリナの全					Color		(スピルリナの全			から得られた、フィコシアニンを主成分とするもの		colour
	藻から得られた、							藻から得られた、			である。デキストリン又は乳糖を含むことがある。		
	フィコシアニンを							フィコシアニンを					
	主成分とするもの							主成分とするもの					
	をいう。)							をいう。)					
172	(略)						172	(略)					
173	(略)						173	(略)					
174	(略)						174	(略)					
175	(略)						175	(略)					
176	(略)						176	(略)					
177	(略)						177	(略)					
178	(略)						178	(略)					
179	(昭各)						179	(略)					
_	()	l	12.21.5	lw.	amadalol	I. a		(12)	ı	1.315	to a considerable order to Aleman to the second detectable rapid	atmin-Ladel	T. a .
180	L-セリン		セリン	<u>×</u>	調味料	L-Serine	180	L-セリン		セリン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料		L-Serine
					強化剤						とした発酵により得られたものを、分離して得られたものである。成分はエーセリンである。	強化剤	
181	セルラーゼ	繊維素分解酵素	カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	Cellulase	181	セルラーゼ	繊維素分解酵素	カルボヒドラーゼ	糸状菌(Acremonium cellulolyticus,Aspergillus	酵素	Cellulase
											aculeatus, Aspergillus awamori, Aspergillus		
											niger, Humicola insolens, Trichoderma		l i
											harzianum, Trichoderma insolens, Trichoderma		
											koningii, Trichoderma longibrachiatum,		
											Trichoderma reesei, Trichoderma viride)、担子		l i
											菌 (Corticium, Irpex, Pycnoporus coccineus)、放		
											線菌 (Actinomyces, Streptomyces) 若しくは細菌 (
											Bacillus circulans, Bacillus subtillis) の培養		
											液より、冷時~微温時水で抽出して得られたもの、又		
											は冷時~室温時濃縮後、冷時エタノール若しくは含		l i
											水エタノールで処理して得られたものである。		
182	/m fn)										71 77 71 00 20 011 31 010 013 03 08		
104	(略)				•		182	(略)					
183	(略)						182 183	(略)					
183	(昭各)						183	(略)					
183 184	(略) (略)						183 184	(時) (時)					
183 184 185	(明各) (明各) (明各)						183 184 185	(略) (略) (略)					
183 184 185 186	(附各) (附各) (附各) (附各)	ソーマチン		*	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186	(略) (略) (略) (略)	ソーマチン		タウマトコッカス・ダニエリ (Thaumatococcus	甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(開告) (開告) (開告) (開告) (開告) タウマチン	ソーマチン		<u>*</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(開答) (開答) (開答) (開答) (開答) タウマチン	ソーマチン			甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(報答) (概答) (概答) (概答) (概答) タウマチン (タウマトコッカ	ソーマチン		<u>*</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(開答) (開答) (開答) (開格) (開格) タウマチン (タウマトコッカ	ソーマチン		daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチ	甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(略音) (略音) (略音) (略音) (解音) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子	ソーマチン		<u>×</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子	ソーマチン			甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) (を) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ	ソーマチン		<u>×</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) (の) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ	ソーマチン		daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチ	甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分	ソーマチン		<u>*</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分	ソーマチン		daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチ	甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (を) タウマチン (タウマトコッカ スが5半よりの種子 カウマチンを主成分 とするものをい	ソーマチン		<u>≭</u>	甘味料	Thaumatin	183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スがら得られた主が ウマチンを主成分 とするものをい	ソーマチン		daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチ	甘味料	Thaumatin
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分 とするものをい う。)	ソーマチン	タウリン				183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分 とするものをい う。)	ソーマチン	タウリン	daniellii Bentham) の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。		
183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) (か) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分 とするものをい う。) タウリン (抽出物)	ソーマチン	ダウリン	<u>*</u>	甘味料	Taurine_(183 184 185 186 187	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリの種子 から得られた、タ ウマチンを主成分 とするものをい う。) タウリン (抽出物)	ソーマチン	タウリン	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タ		Taurine_(
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカス メニエリの種子 から得られた、タウマチンを主成分とするものをいう。) タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類	ソーマチン	タウリン				183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカス メニエリの種子 から得られた、タウマチンを主成分 とするものとするもの。 タウリン(抽出物) (魚類又はほ乳類	ソーマチン	タウリン	daniellii Bentham) の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。		
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スがら得られた主成分 とするものをいう。) タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類の 臓器又は肉から	ソーマチン	タウリン			Taurine_(183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカス から得られを主成分とするものをいう。) タウリン (抽出物) の臓器又は肉から	ソーマチン	タウリン	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タ		Taurine_(
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ スが号やられた主成分 とするものをい う。) タウリン(油出物) (魚騰器又は肉から 得られた、タウリ	ソーマチン	タウリン			Taurine_(183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の) (の		タウリン	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タ		Taurine_(
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカスダーエリの種子から得られたた。成分とするものをいう。) タウリン (抽出物)類の臓器又は肉タウリンを主成分とする	ソーマチン	ダウリン			Taurine_(183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニエリのを シーニスリのを とするものをい う。) タウリン (抽出物) (魚 臓器又は タウリンを主成分とする		タウリン	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タ		Taurine_(
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (か) タウマチン (タウマトコッカ スダニメリのを表す。) クウマチンを主成という。) タウリン (抽出物) (魚類又はほ乳類 の臓器又は肉から 得られたた分とするものをいう。)	ソーマチン			調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ スダニエリのを主なり ウマオンを主ない う。) (タウリン(抽出物) (魚類又はほ乳類 (の臓器れた、メラウとする) (発してはいりが、はほれが、 (独しないのでは、) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を) (を			daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニトリの種子とを主成分とするものとするものをいう。) タウリン(抽出物) (魚類又は肉から 得られた、分とするものをないう。) タマネギ色素	ソーマチン	フラボノイド			Taurine_(183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スダニートルで、タウマトのをは、タウマオンを主成り とす。) タウリン(抽出物) (魚類又は肉から 場とま成りとす。) タウサスタンである。) タマネギ色素		フラボノイド	daniellii Bentham) の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より	調味料	Taurine_(
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカ スがら得られを主成分 とするものをいう。) タウリン(抽出物)類 の機器又は肉から 得られた成分とする ものをいう。) タウリンとををいう。 タウリンとなるものをいる。 タウリンとなる。 タウリンとなる。 のをいう。 タマネギのりん	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素		調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカスが号によれて主な分とするものをいう。) タウリン(油は乳類の臓器又は肉から得られたた分とするものをいう。) タウリンを主ながられている。とするものないう。		フラボノイド フラボノイド色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時〜熱時水若しくは含水エタノールで抽出して	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ子ン カマチンをつるした。成分とするものとするものとするものは国別では、 タウリンはは関から (魚臓器又は、タウリンを主成分。) タマネギ色をいう。) タマネギのもん。 薬から得られた。 ダッマネギのものをいう。)	ソーマチン	フラボノイド		調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (多) (タウマチン (タウマトコッカ スが号等した主成分 とするものをから。) タウリンはは肉から (魚類器又に、タウリンはは肉から (を) をもむたいう。) タマネギ色をいう。) タマネギ色等 くタマネギのもん。 薬が得られた、 をいう。)		フラボノイド	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時へ熟時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時へ熱時弱アルカリ性水溶液	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ スダニスリのたま、皮分とするものを主めない。) タウリン (はほ乳類ら得られた。人としまない。) タマネギ色末くから。) タマネギやれた。とから得られた。とクエルセチンをカル、を主がいた。	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素		調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略)		フラボノイド フラボノイド色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時〜熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時〜熱中弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクで抽出し、中和して得られたものである。主色素はク	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ子ン カマチンをつるした。成分とするものとするものとするものは国別では、 タウリンはは関から (魚臓器又は、タウリンを主成分。) タマネギ色をいう。) タマネギのもん。 薬から得られた。 ダッマネギのものをいう。)	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素		調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (多) (タウマチン (タウマトコッカ スが号等した主成分 とするものをから。) タウリンはは肉から (魚類器又に、タウリンはは肉から (を) をもむたいう。) タマネギ色をいう。) タマネギ色等 くタマネギのもん。 薬が得られた、 をいう。)		フラボノイド フラボノイド色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時へ熟時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時へ熱時弱アルカリ性水溶液	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (タウマチン (タウマトコッカ スダニスリのたま、皮分とするものを主めない。) タウリン (はほ乳類ら得られた。人としまない。) タマネギ色末くから。) タマネギやれた。とから得られた。とクエルセチンをカル、を主がいた。	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素		調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略)		フラボノイド フラボノイド色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時〜熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時〜熱中弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクで抽出し、中和して得られたものである。主色素はク	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマチン (タウマートコの種を カウマチンものを からで表します。) タウリンでははは乳類 の臓器又は肉から 得られたのから。) タマネギをあった。) タマネギをおれた。 カルセチンものを いう。)	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素	<u>*</u>	調味料	Taurine_(Extract)	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) (略)		フラボノイド フラボノイド色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ (Allium cepa LINNE) のりん茎より、温時〜熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時〜熱中弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクで抽出し、中和して得られたものである。主色素はク	調味料	Taurine_(extract)
183 184 185 186 187 188 189	(略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマチン (タウマートコの種を カウマチンものを からで表します。) タウリンでははは乳類 の臓器又は肉から 得られたのから。) タマネギをあった。) タマネギをおれた。 カルセチンものを いう。)	ソーマチン	フラボノイド フラボノイド色素 野菜色素		調味料	Taurine_(Extract) Onion Color	183 184 185 186 187 188	(略) (略) (略) (略) (略) (略) (略) タウマチン (タウマトコッカスがら得られを主成分とするものをいう。) タウリンでははほ乳類の臓器又は肉から得られた成分。) タマネギキのりん変いう。 タマネキキのりん変からやせぎんだった。		フラボノイド フラボノイド色素 野菜色素	daniellii Bentham)の種子から得られた、タウマチンを主成分とするものである。 魚介類又は哺乳動物の臓器又は肉から得られた、タウリンを主成分とするものである。 ユリ科タマネギ(Allium cepa LINNE)のりん茎より、温時〜熱時水若しくは含水エタノールで抽出して得られたもの、又は温時〜熱時弱アルカリ性水溶液で抽出し、中和して得られたものである。主色素はクエルセチンである。黄色を呈する。	調味料	Taurine (extract) Onion colour

	子から得られた、				1		П	子から得られた、	I		抽出し、中和して得られたものである。主色素はフラ	1	1
	フラボノイドを主							フラボノイドを主			ボノイドである。赤褐色を呈する。		
	成分とするものを							成分とするものを			NOT TECOPOR MIGLEEN DO		
	いう。)							いう。)					
192	タマリンドシード		タマリンド	<u>**</u>	増粘安定剤	Tamarind Seed	192	タマリンドシード		タマリンド	タマリンド (Tamarindus indica Linné) の種子から	増粘安定剤	Tamarind seed
		タマリンド種子多				Gum		ガム	タマリンド種子多		得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖	f	gum
	(タマリンドの種	糖類						(タマリンドの種	糖類		、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含		
	子から得られた、 多糖類を主成分と							子から得られた、 多糖類を主成分と			<u>むことがある。</u>		
	多糖類を主成分と するものをいう。)							多糖類を主成方と するものをいう。)					
193	タラガム			*	増粘安定剤	Tara Gum	193	タラガム			タラ (Caesalpinia spinosa Kuntze) の種子から得	増粘安定剤	Tara gum
	(タラの種子から			<u>—</u>	LIII OCO			(タラの種子から			られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、	n n n n n n	
	得られた、多糖類							得られた、多糖類	i		ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含む		
	を主成分とするも							を主成分とするも	•		<u>ことがある。</u>		
101	のをいう。) タルク			**	ガムベース	m 1	194	のをいう。) タルク		~~~ III Abd III d 56	Thomas III 184 184 14 14 three 1 to a com-	ガムベース	m 1
194	タルク		不溶性鉱物性物質	<u>×</u>	製造用剤	laic	194	タルク		不溶性鉱物性物質	天然の含水ケイ酸マグネシウムを精選したもので、 ときに少量のケイ酸アルミニウムを含む。	製造用剤	laic
195	(服各)				350E/11/H1		195	(服各)		L	ことにク重の方面数方がミークのと目的。	350E/11/H1	I
196	(略)						196	(略)					
197	タンナーゼ			<u>*</u>	酵素	Tannase	197	タンナーゼ			糸状菌 (Aspergillus oryzae) の培養液より、冷時へ	酵素	Tannase
Ш							Ш				室温時水で抽出して得られたもの、又は濃縮後、冷時	1	
											~室温時エタノール若しくは含水エタノールで処理		
198	77 (-) (hhLUbba)	タンニン酸(抽出	h) (=) (製造用剤	Tannin (198	A > (-> (bds LLUbba)	タンニン酸(抽出	タンニン	して得られたものである。	製造用剤	Tannin (
198	(カキの果実、五		タンニン タンニン酸		表垣用削	extract)	198	(カキの果実、五		タンニン酸		彩垣州削	extract)
	倍子、タラ末、没食	1/3))			CALLECT		倍子、タラ末、没食) V = V EX			CAUTAC t)
	子又はミモザの樹							子又はミモザの樹					
	皮から得られた、							皮から得られた、					
	タンニン及びタン							タンニン及びタン					
	ニン酸を主成分と							ニン酸を主成分と					
	するものをいう。) 柿タンニン	柿渋		カキ科カキ (Diospyros kaki THUNB.) の実より、		Tannin of		するものをいう。) 柿タンニン	柿渋		カキ科カキ (Diospyros kaki THLNB.) の実より、	1	Tannin of
		^仲 に 枯抽出物		搾汁したもの、又は水若しくはエタノールで抽出し		persimmon		柳タンーン	柿抽出物		搾汁したもの、又は水若しくはエタノールで抽出し		persimmon
		JUSTIFICATION .		て得られたものである。主成分はタンニン及びタン		persimion			ЛИППТИ		て得られたものである。主成分はタンニン及びタン		persiminar
				ニン酸である。							ニン酸である。		
	植物タンニン			<u>*</u>		Vegetable		植物タンニン			五倍子、タラ末又は没食子から得られた、タンニン		Vegetable_
						Tannin					及びタンニン酸を主成分とするものである。		tannin
	ミモザタンニン			マメ科ミモザ (Acacia dealbata LINNE) の樹皮よ		Tannin of		ミモザタンニン			マメ科ミモザ (Acacia dealbata LINNE) の樹皮よ		Tannin of
П				り、水又はエタノールで抽出して得られたものであ る。主成分はタンニン及びタンニン酸である。		silver wattle	Ш				り、水又はエタノールで抽出して得られたものである。 主成分はタンニン及びタンニン酸である。		silver wattle
199	(略)			つ。エスカルング・一クスロック・一ク政(のつ。	I	L	199	(略)	L	1	」 30 エルノバネア マーマ 人() ファーマ 政(め)。	I.	L
200	(昭各)						200	(略)					
201	(略)						201	(暗)					
202	(略)	-	-			_	202	(略)	-	-			-
203	(略)						203	(略)				1	
204	L-チロシン	(削除)	L-チロジン	<u>*</u>	調味料	L-Tyrosine	204	L-チロシン	L-チロジン	チロシン	動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により		L-Tyrosine
Ш			チロシン チロジン		強化剤		Ш			チロジン	、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、	強化剤	
			フロンン								分離して得られたものである。成分はL-チロシンである		
205	(略)				1	-	205	(略)	I	I	<u>νννο</u>	1	I .
206	()	ヒノキチオール(ヒノキチオール	<u>*</u>	保存料	Thujaplicin	206	ツヤプリシン(抽	ヒノキチオール(ヒノキチオール	アスナロ (ヒバ) (Thujopsis dolabrata Siebold et	保存料	Thujaplicin
		抽出物)				(Extract)	1	出物)	抽出物)		Zuccarini)の幹枝又は根から得られた、ツヤプリシ	1	(extract)
	(ヒバの幹枝又は					Hinokitiol <u>(Ext</u>		(ヒバの幹枝又は			ン類を主成分とするものである。		Hinokitiol <u>(ext</u>
	根から得られた、					ract)		根から得られた、					ract)
Ш	ツヤプリシン類を						Ш	ツヤプリシン類を	1				
	主成分とするもの をいう。)							主成分とするもの をいう。)	2				
Щ	でい り。丿				1		11	どい り。)		<u> </u>			l

207	5'-デアミナーゼ			<u>×</u>	酵素	5'-Deaminase	207	5'-デアミナーゼ			糸状菌(Aspergillus melleus,Aspergillus oryzae	酵素	5'-Deaminase
)の培養液より、冷時~室温時水で抽出して得られた		
											もの、又は冷時〜室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたものである。		
208	(服各)				Į.	l	208	(暗答)			理して付られたものである。	ļ.	1
209	(服务)						209	(略)					
	デキストラナーゼ			**	酵素	Dextranase		()-)	l		糸状菌 (Chaetomium erraticum, Chaetomium	磁表	Dextranase
210	74/1///			<u>*</u>	日子が	Dextranase	210	747177			gracile, Penicillium lilacinum) の培養液より、冷	HP-970	Dextranase
											時~室温時水若しくは酸性水溶液で抽出して得られ		
											たもの、除菌後、冷時~室温時濃縮したもの、又は冷		
											時エタノールで処理して得られたものである。		
211	デキストラン		ブドウ糖多糖	*	増粘安定剤	Dextran	211	デキストラン		ブドウ糖多糖	グラム陽性細菌(Leuconostoc mesenteroides又は	増粘安定剤	Dextran
				_							Streptococcus equinus)の培養液より、分離して得		
											られたものである。成分はデキストランである。		
212	(略)						212	(略)					
213	デュナリエラカロ		カロチノイド	<u>*</u>	強化剤	<u>Dunaliella</u>	213			カロチノイド	デュナリエラ (Dunaliella bardawil又はDunaliella		<u>Dunaliella</u>
	テン		カロチノイド色素		着色料	Carotene		テン	藻類カロテン	カロチノイド色素	salina) の全藻から得られた、β-カロテンを主成分	着色料	carotene
		デュナリエラカロ							デュナリエラカロ		とするものである。食用油脂を含むことがある。		
	全藻から得られ	-	カロチン色素					全藻から得られ		カロチン色素			
		ドナリエラカロチ							ドナリエラカロチ				
	主成分とするもの をいう。)	ン ドナリエラカロテ	カロテノイド色素					主成分とするもの をいう。)	ン ドナリエラカロテ	カロテノイド色素			
	をいり。)		カロテン色素					をいり。)	トナッエフルロケ	カロテン色素			
		抽出カロチン	カロノン巴糸						抽出カロチン	ガロノン巴系			
		抽出カロテン							抽出カロテン				
214	(略)	加四%~~			ı	l	214	(略)	1四四/4 - 7 4	l.		l	
215		カプシカム色素	カロチノイド	*	着色料	Paprika Color	215	トウガラシ色素	カプシカム色素	カロチノイド	トウガラシ (Capsicum annuum Linné) の果実から得	着色料	Paprika colour
	(トウガラシの果		カロチノイド色素	=	12.	Paprika		(トウガラシの果		カロチノイド色素	られた、カプサンチン類を主成分とするものである。	1 2 1 1	Paprika
	実から得られた、		カロテノイド			Oleoresin		実から得られた、		カロテノイド	食用油脂を含むことがある。		oleoresin
	カプサンチン類を		カロテノイド色素					カプサンチン類を		カロテノイド色素			
	主成分とするもの							主成分とするもの					
	をいう。)							をいう。)					
216	(略)						216	(略)					
217	動物性ステロール	コレステロール	ステロール	<u>*</u>	乳化剤	Cholesterol	217	動物性ステロール	コレステロール	ステロール	魚油の不けん化物又は「ラノリン」より、加水分解し	乳化剤	Cholesterol
	(魚油又は「ラノ							(魚油又は「ラノ			たもの、又は有機溶剤で抽出したものより得られた		
	リン」から得られ							リン」から得られ			ものである。主成分はコレステロールである。		
	た、コレステロー							た、コレステロー					
	ルを主成分とする							ルを主成分とする ものをいう。)					
218	ものをいう。) トコトリエノール			*	高允/レドセ・レタリ	Tocotrienol	218	ものをいう。) トコトリエノール			イネ (Oryza sativa Linné) の米ぬか油、アブラヤシ	高な/レパセ・レタリ	Togothiana1
418	トコトッエノール			<u>~</u>	政门山灯北月	10C0f1.16U01	418				(Elaeis guineensis Jacquin) のパーム油等より分	政门的几年	10C0f1.16U01
											別精製して得られたものである。主成分はトコトリ		
											エノールである。食用油脂を含むことがある。		
219	d-α-トコフェロ	α-ビタミンE	抽出 V. E	*	酸化防止剤	d-α-	219	d-α-トコフェロ	α-ビタミンE	抽出 V. E		酸化防止剤	d-α-
	ール		トコフェロール		強化剤	Tocophero1		ール	抽出トコフェロー	トコフェロール	ェロール (植物油脂から得られたd-α-トコフェロー		Tocophero1
			α-トコフェロー						N	α-トコフェロー	ル、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及び		
			ル						抽出ビタミンE	ル	d-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。)		
			ビタミンE							ビタミンE	より分離して得られた、d-α-トコフェロールを主成		
			V. E							V. E	分とするものである。食用油脂を含むことがある。		
			抽出トコフェロー										
			<u>\(\bu\)</u>										
igsquare			抽出ビタミンE										
220	d-γ-トコフェロ	γ-ビタミンE	抽出 V. E	<u>×</u>	酸化防止剤		220			抽出 V. E	油糧種子から得られた植物油脂又はミックストコフ		
	ール		トコフェロール		強化剤	Tocophero1		ール	抽出トコフェロー	トコフェロール	エロール (植物油脂から得られたd-α-トコフェロー	強化剤	Tocophero1
			y-トコフェロー						<u>//</u>	γ-トコフェロー	ル、d-β-トコフェロール、d-y-トコフェロール及び		
			ル						抽出ビタミンE	ルルスン・ア	d-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。)		
			ビタミンE				11			ビタミンE	より分離して得られた、d-γ-トコフェロールを主成		

$\overline{}$	1	Г	u p		1	1	11	ı	1	W.P.	ハルナフキのベナフ・東田寺地大会とこしがナフ	1	1
			V.E 抽出トコフェロー							V. E	分とするものである。食用油脂を含むことがある。		
			ル										
			抽出ビタミンE										
221	d-δ-トコフェロ	δ-ビタミンE	抽出 V. E	<u>*</u>	酸化防止剤	d-δ-	221	d-δ-トコフェロ		抽出 V. E	油糧種子から得られた植物油脂又はミックストコフ	砂化防止剤	d- δ -
	ール		トコフェロール		強化剤	Tocopherol		ール	抽出トコフェロー		ェロール (植物油脂から得られたd-α-トコフェロー	強化剤	Tocophero1
			δ-トコフェロー						<u>ル</u>	δ-トコフェロー	ル、d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及び	K	
			ル						抽出ビタミンE	ル ビタミンE	d-δ-トコフェロールを主成分とするものをいう。)		
			ビタミンE V.E							ビタミンE V. E	より分離して得られた、d-δ-トコフェロールを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	<u> </u>	
			抽出トコフェロー							V. E	カとするものである。 民用価値を占むことがある。		
			ル										
			抽出ビタミンE										
222		トマトリコピン	カロチノイド	<u>*</u>	着色料	Tomato Color	222	—	トマトリコピン	カロチノイド	トマト (Lycopersicon esculentum Miller) の果実が	着色料	Tomato colour
	(トマトの果実か		カロチノイド色素			(削除)		(トマトの果実か	•	カロチノイド色素	ら得られた、リコピンを主成分とするものである。食	2	<u>Tomato</u>
	ら得られた、リコ		カロテノイド					ら得られた、リコ		カロテノイド	用油脂を含むことがある。		1ycopene
	ピンを主成分とす るものをいう。)		カロテノイド色素 野菜色素					ピンを主成分とす るものをいう。)		カロテノイド色素 野菜色素			
223	トラガントガム		野来色素 トラガント	*	地址字定刻	Tragacanth Gum	223	トラガントガム	 	野来巴系 トラガント	トラガント (Astragalus gummifer Labillardière)	増料安定剤	Tragacanth gum
443	(トラガントの分		1.7.42 1.		相和女疋別	Tragacantii Gull	223	(トラガントの分		1.7%~ 1.	の分泌液から得られた、多糖類を主成分とするもの) 相和从处剂	Tragacantin gull
	泌液から得られ							泌液から得られ			である。	=	
	た、多糖類を主成							た、多糖類を主成					
	分とするものをい							分とするものをい	•				
	う。)							う。)					
224	トランスグルコシ ダーゼ			<u>×</u>	酵素	Transglucosida	224	トランスグルコシ ダーゼ			糸状菌 (Aspergillus niger, Aspergillus usamii)	酵素	Transglucosida
	ターセ					se		ターセ			、細菌 (Sulfolobus solfataricus) の培養液より、 冷時〜室温時除菌したもの、冷時〜室温時濃縮した	-	se
											もの、又は冷時エタノールで処理して得られたもの	=	
											である。	1	
225	トランスグルタミ			*	酵素	Transglutamina	225	トランスグルタミ			動物の肝臓より、又は放線菌 (Streptomyces,	酵素	Transglutamina
	ナーゼ					se		ナーゼ			Streptoverticillium mobaraense) 若しくは細菌	<u>(</u>	se
											Bacillus) の培養液より、室温時水で抽出後、冷時エ	-	
000	1.11=0.5			W	x+++	m ·	000	1.11=23.3			タノールで処理して得られたものである。	TH-H	
226	トリプシン			<u>*</u>	酵素	Trypsin	226	トリプシン			動物の膵臓又は魚類若しくは甲殻類の臓器から得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリ	酵素	Trypsin
											20に、たかロ貴が帰り来である。40億又はアイストランを含むことがある。		
227	(昭各)	l	l		1	l	227	(略)		l.	- CHOCON 000	1	1
228	トレハロースホス			<u>*</u>	酵素	Trehalose	228	トレハロースホス			細菌 (Plesiomonas) の培養液の菌体を酵素 (リゾチ	酵素	Trehalose
	ホリラーゼ					Phosphorylase		ホリラーゼ	1		ーム) 処理した後、冷時~室温時水で抽出して得られ	<u>ı</u>	phosphorylase
1	4-40							6-13			<u>たものである。</u>		
229	(略)	OH THE LEGAL	2211 182 14 2 1 2 7	w.	Diddy Later Leader	D 111 N	229	(略)	(-h == +th)/ 554/	1911 Way 14 5 1 77	体 = # (D ・11 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	Little Landauderica	n 111
230	納豆菌ガム (納豆菌の培養液	納豆菌粘質物	ポリグルタミン酸	<u>*</u>	増粘安定剤 製造用剤	Bacillus Natto	230	納豆菌ガム (納豆菌の培養液	納豆菌粘質物	ポリグルタミン酸	納豆菌 (Bacillus subtilis) の培養液から得られた 、ポリグルタミン酸を主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	
	(納豆園の培養液 から得られた、ポ				没垣州州	Gum		(納豆園の培養液 から得られた、ポ			、ハリンルグミン酸を土成力とするものである。	没逗用剤	gum
	リグルタミン酸を							リグルタミン酸を					
	主成分とするもの							主成分とするもの	1				
	をいう。)							をいう。)	<u> </u>			1	<u> </u>
231	(略)						231	(略)				-	
232	(略)	I	ı	I	I	1	232	(略)	T		La company	I-0. 1.	
233	ナリンジナーゼ	ナリンギナーゼ		<u>*</u>	酵素	Naringinase	233	ナリンジナーゼ	ナリンギナーゼ		糸状菌 (Aspergillus usamii, Penicillium	酵素	Naringinase
											decumbens) の培養液より、冷時〜室温時水で抽出し 、冷時〜室温時濃縮後、冷時エタノールで処理して得	ĺ	
											、、「中で〜至温中機構像、中時エタノールで処理して信いれたものである。	Ī	
234	ナリンジン	ナリンギン		<u>*</u>	苦味料等	Naringin	234	ナリンジン	ナリンギン		グレープフルーツ (Citrus × paradisi Macfadyer	苦味料等	Naringin
					PENNING.		101		" " " " " " " " " " " " " " " " " " ") の果皮、果汁又は種子より、水又はエタノール若し	H NALL AT	
									1		くはメタノールで抽出し、分離して得られたもので	5	
											ある。成分はナリンジンである。		
_													

235	(略)						235	(略)					
236	(略)						236	(略)					
237	(略)						237	(略)					
		ン キャロットカロテ ン ニンジンカロチン 抽出カロチン	カロチノイド色素 カロチン カロチン色素	<u>×</u>	強化剤着色料	Carrot Carotene	238	(ニンジンの根から得られた、カロ テンを主成分とす るものをいう。)	キャロットカロテ	カロチノイド色素 カロチン カロチン色素	ニンジン (Daucus carota Linné) の根から得られた、カロテンを主成分とするものである。食用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Carrot carotene
239	(略)						239	(略)					
240	(略)						240	(略)					
241	パーオキシダーゼ	ベルオキシダーゼ		*	酵素	Peroxidase	241	パーオキシダーゼ	ベルオキシダーゼ		アプラナ科セイヨウワサビ (Armoracia rusticana)、アプラナ科ダイコン (Rahpauns acanthiformis) 老しくはキュウリ科キュウリ (Cucumis sativus) より搾汁したもの、又は糸状菌 (Alternaria, Aspergillus oryzae, Coprinus cinereus, Oidiodendron) 若しくは細菌 (Racillus) の培養液より、冷時〜室温時水で抽出して得られたもの、若しくは冷時〜室温時水で抽出して得られたもの、若しくれたものである。	酵素	Peroxidase
242	(略)	J			1	1	242	(略)	I	1	4-1-0-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	ı	1
243	パペン			<u>*</u>	酵素	Papain	243	パペン			パジイヤ(Carica papaya Linné)の果実より得られた、たん白質分解酵素である。乳糖又はデキストリンを含むことがある。		Papain
	パーム油カロテン (アプラヤシの果 実から得られた、 カロテンを主成分 とするものをい う。)	抽出カロチン 抽出カロテン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロテノイド色素 カロテノイド色素 カロテン カロテン カロテン カロテン	<u>*</u>	強化剤 着色料	Palm 0i1 Carotene	244	パーム油カロテン (アブラヤシの果 実から得られた、 カロテンを主成分 とするものをい う。)	抽出カロチン	カロチノイド カロチノイド色素 カロチン カロチン色素 カロテノイド カロテノイド色素 カロテン カロテンと素	アプラヤシ (Elaeis guineensis Jacquin) の果実から得られた、カロテンを主成分とするものである。負用油脂を含むことがある。	強化剤 着色料	Palm oil carotene
245	パーライト		不溶性鉱物性物質	<u>*</u>	製造用剤	Perlite	245	パーライト		不溶性鉱物性物質	鉱物性二酸化ケイ素を800~1,200℃で焼成したもの	製造用剤	Perlite
											である。		
246	(略)						246	(略)					
247	パラフィンワック ス	パラフィン		*	ガムベース 光沢剤		247	パラフィンワック ス	パラフィン		石油の常圧及び減圧蒸留留出油から得た固形の炭化 水素の混合物で、主として直鎖状の飽和炭化水素からなる。	光沢剤	Paraffin wax
248	パンクレアチン			<u>*</u>	酵素	Pancreatin	248	パンクレアチン			動物のすい臓より、室温時水で抽出し、冷時~室温時	酵素	Pancreatin
0.40	(m/r)			<u> </u>	1	1	0.40	(m/z)		<u> </u>	アセトンで処理して得られたものである。	1	1
249 250	(略) 微結晶セルロース (パルプから得ら れた、結晶セルロ ースを主成分とす るものをいう。)	結晶セルロース	セルロース	<u>*</u>	製造用剤	Microcrystalli ne Cellulose	249 250	(略) 微結晶セルロース (パルプから得ら れた、結晶セルロ ースを主成分とす るものをいう。)	結晶セルロース	セルロース	バルブから得られた、結晶セルロースを主成分とするものである。乾燥物及び含水物がある。	製造用剤	Microcrystalli ne cellulose
	微小繊維状セルロ ース (パルプ又は綿を 微小繊維状にして 得られた、セルロ ースを主成分とす るものをいう。)		セルロース	<u>×</u>	増粘安定剤 製造用剤	Microfibrillat ed Cellulose	251	微小繊維状セルロ ース (パルプ又は綿を 微小繊維状にして 得られた、セルロ ースを主成分とす るものをいう。)		セルロース	バルブ又は綿を微小繊維状にして得られた、セルロ 一スを主成分とするものである。	増粘安定剤 製造用剤	Microfibrillat ed cellulose
252	L-ヒスチジン		ヒスチジン	<u>*</u>	調味料 強化剤	L-Histidine	252	L-ヒスチジン		ヒスチジン	タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離して得られ		L-Histidine

П					1	1					たものである。成分はエーヒスチジンである。		
253	ビートレッド	アカビート色素	アカビート	<u>w</u>	着色料	Beet Red	253	ビートレッド	アカビート色素	アカビート	どート (Beta vulgaris Linné) の根から得られた、	着色料	Beet red
200		ノルに一下巴糸	野菜色素	<u>*</u>	有已科	beet ked	200	(ビートの根から	ノガビート巴糸	野菜色素	イソベタニン及びベタニンを主成分とするものであ	有巴科	beet red
	(ビートの根から		對米巴系							對米巴系		2	
	得られた、イソベ							得られた、イソベ			る。デキストリン又は乳糖を含むことがある。		
	タニン及びベタニ							タニン及びベタニ					
	ンを主成分とする							ンを主成分とする					
	ものをいう。)							ものをいう。)					
254	L-ヒドロキシプロ	L-オキシプロリン	オキシプロリン	*	調味料	L-	254	L-ヒドロキシプロ	L-オキシプロリン	オキシプロリン	ゼラチン等を、加水分解し、分離して得られたもので	調味料	L-
	リン		ヒドロキシプロリ	-	強化剤	Hydroxyproline		リン		ヒドロキシプロリ	ある。主成分はユーヒドロキシプロリンである。	強化剤	Hydroxyproline
	, ,		2		3210/13	nyar onyprorine		, ·		2	57 08 22900100 0 1 1 1 1 1 7 1 7 1 2 0 0 0	3.A(L)/13	ny arony protinc
255	/m/r \	l	,		I		255	(m/z)		~			1
	(略)							(略)					
256	(略)						256	(略)					
257	(略)						257	(略)					
258	(略)						258	(略)					
259	フィシン	ファイシン		*	酵素	Ficin	259	フィシン	ファイシン		クワ科イチジク (Ficus carica LINNE) 又はクワ科	酵素	Ficin
											ヒゴ (Ficus glabrata H.B. et K.) の樹液を、乾燥		
											したもの、又はこれより、冷時~室温時水で抽出して		
							Ш				得られたものである。成分はフィシンである。		
260	フィターゼ	 	ホスホヒドロラー	<u>×</u>	酵素	Phytase	260	フィターゼ		ホスホヒドロラー	糸状菌(Aspergillus niger)の培養液より水で抽出	酵素	Phytase
200	717-6		か ハ か こ トロ ノー	<u>~</u>	时术	i ny tase	200	717-E		かんかに トロノー	大人国(Aspergillus niger)の音楽仪より水で抽工し、濃縮して得られたものである。	时术	i ny tase
			72							セ			
261	フィチン酸			<u>*</u>	酸味料	Phytic Acid	261	フィチン酸			イネ科イネ (Oryza sativa LINE) の種子より得ら		Phytic acid
	(米ぬか又はトウ				製造用剤		Ш	(米ぬか又はトウ			れた米ぬか又はイネ科トウモロコシ (Zea mays LINN	製造用剤	
	モロコシの種子か	•						モロコシの種子か) の種子より、室温時水又は酸性水溶液で抽出し、精	f	
	ら得られた、イノ							ら得られた、イノ			製して得られたものである。主成分はイノシトール	-	
	シトールヘキサリ							シトールヘキサリ			ヘキサリン酸である。		
	ン酸を主成分とす							ン酸を主成分とす					
	るものをいう。)							るものをいう。)					
262	(略)				l		262	(略)				1	l
_													
263	(略)	1	1	T	T-1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -1 -	1	263	(略)		T	Table 1	T	
264	フェルラ酸			<u>×</u>	酸化防止剤	Ferulic Acid	264	フェルラ酸			イネ科イネ (Oryza sativa LINNE) の糠より得られ	酸化防止剤	Ferulic acid
											た米糠油を、室温時弱アルカル性下で含水エタノー		
											ル及びヘキサンで分配した後、含水エタノール画分		
											に得られたy-オリザノールを、加圧下熱時硫酸で加]	
											水分解し、精製して得られたもの、又は細菌		
											Pseudomonas) を、フトモモ科チョウジノキ (Syzygium		
											aromaticum MERRILL et PERRY) のつぼみ及び葉より		
											水蒸気蒸留で得られた丁子油、又は丁子油から精製	i	
											して得られたオイゲノールを含む培養液で培養し、		
							H					1	
							H				その培養液を、分離、精製して得られたものである。	1	
		ch max			ALL LAND		1				成分はフェルラ酸である。	AMERICA A ST	
265	フクロノリ抽出物	(削除)	フクロノリ多糖類	<u>*</u>	増粘安定剤	<u>Fukuronori</u>	265	フクロノリ抽出物	フクロノリ多糖類		フクロフノリ (Gloiopeltis furcata J. Agardh) の	増粘安定剤	
	(フクロノリの全		フクロフノリ多糖			Extract	11	(フクロノリの全	フクロフノリ多糖	1	全藻から得られた、多糖類を主成分とするものであ	2	extract
1		1		1									1
	藻から得られた、		類					藻から得られた、	類		る。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマル	(
	藻から得られた、 多糖類を主成分と		<u>類</u> フクロフノリ抽出					藻から得られた、 多糖類を主成分と	<u>類</u> フクロフノリ抽出		る。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマル トースを含むことがある。		
			<u>類</u> フクロフノリ抽出 物						<u>類</u> フクロフノリ抽出 物				
266	多糖類を主成分と		<u>類</u> フクロフノリ抽出 <mark>物</mark>				266	多糖類を主成分と	<u>類</u> フクロフノリ抽出 <u>物</u>				
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略)	エバアニン	物	w	差色料	Grane Skin	266	多糖類を主成分と するものをいう。) (略)	物	アントシアニン	トースを含むことがある。	* 差色料	Grane skin
266 267	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素	エノシアニン	ヤ アントシアニン	<u>×</u>	着色料	Grape Skin	266 267	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素	類 フクロフノリ抽出 物 エノシアニン	アントシアニン	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブト	着色料	Grape skin
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ		物	<u>×</u>	着色料	Color		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ	物		トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブドウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、ア	着色料	colour
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮		物 アントシアニン アントシアニン色素	<u>*</u>	着色料	<u>Color</u> Grape Skin		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮	物	アントシアニン色 素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキスト	着色料	<u>colour</u> Grape skin
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア		ヤ アントシアニン	<u>×</u>	着色料	Color		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア	物		トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブドウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、ア	着色料	colour
	多糖類を主成分とするものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主		物 アントシアニン アントシアニン色素	<u>×</u>	着色料	<u>Color</u> Grape Skin		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主	物	アントシアニン色 素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキスト	着色料	<u>colour</u> Grape skin
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア		物 アントシアニン アントシアニン色素	<u>*</u>	着色料	<u>Color</u> Grape Skin		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア	物	アントシアニン色 素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキスト	着色料	<u>colour</u> Grape skin
	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主		物 アントシアニン アントシアニン色素	<u>*</u>	着色料	<u>Color</u> Grape Skin		多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主	物	アントシアニン色 素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキスト	着色料	<u>colour</u> Grape skin
	多糖類を主成分とするものをいう。) (路) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主 成分とするものを		物 アントシアニン アントシアニン色素	<u>×</u>	着色料	<u>Color</u> Grape Skin	267	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主 成分とするものを	物	アントシアニン色 素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキスト	着色料	<u>colour</u> Grape skin
267	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主 成分とするものを いう。) (略)		物 アントシアニン アントシアニン色 素 ブドウ色素			Color Grape Skin Extract	267 268	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンとするものを いう。) (略)	物	アントシアニン色 素 ブドウ色素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。		colour Grape skin extract
267	多糖類を主成分とするものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。) (略)		物 アントシアニン アントシアニン色 素 ブドウ色素 プロアントシアニ		酸化防止剤	Color Grape Skin Extract	267	多糖類を主成分とするものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、アントシアニンを主成分とするものをいう。) (略)	物	アントシアニン色 素 ブドウ色素 プロアントシアニ	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。 ブドウ科アメリカブドウ (Vitis labrusca LINNE)	酸化防止剤	colour Grape skin extract
267	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンを主 成分とするものを いう。) (略)		物 アントシアニン アントシアニン色 素 ブドウ色素			Color Grape Skin Extract	267 268	多糖類を主成分と するものをいう。) (略) ブドウ果皮色素 (アメリカブドウ 又はブドウの果皮 から得られた、ア ントシアニンとするものを いう。) (略)	物	アントシアニン色 素 ブドウ色素	トースを含むことがある。 アメリカブドウ (Vitis labrusca Linné) 又はブトウ (Vitis vinifera Linné) の果皮から得られた、アントシアニンを主成分とするものである。デキストリン又は乳糖を含むことがある。	酸化防止剤	colour Grape skin extract

	から得られた、プ						Ш	から得られた、フ	f		ンで抽出したものより得られたもの、又はこの抽出		
	ロアントシアニジ							ロアントシアニシ			物を、酵母を用いて発酵処理したものより得られた		
	ンを主成分とする							ンを主成分とする			もの、若しくはタンナーゼにより加水分解処理した		
	ものをいう。)							ものをいう。)			ものより得られたものである。主成分はプロアント		
	,										シアニジンである。		
270	(略)					•	270	(略)					
271	フルクトシルトラ			<u>*</u>	酵素	Fructosyl_	271		Ž.		糸状菌 (Aspergillus, Penicillium roqueforti) 又	酵素	Fructosyl_
	ンスフェラーゼ					Transferase		ンスフェラーゼ			は細菌 (Arthrobacter, Bacillus) の培養液より、冷		transferase
											時〜室温時水で抽出して得られたもの、又は除菌後、 冷時〜室温時濃縮して得られたものである。		
272	プルラナーゼ		アミラーゼ	<u>*</u>	酵素	Pullulanase	272	プルラナーゼ		アミラーゼ	細菌 (Bacillus, Klebsiella, Sulfolobus	酵素	Pullulanase
			カルボヒドラーゼ							カルボヒドラーゼ			
											して得られたもので、除菌したもの、冷時~室温時濃		
											縮したもの、冷時エタノール、含水エタノール若しく		
											はアセトンで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたも		
											である。		
273	プルラン			*	増粘安定剤	Pullulan	273	プルラン	†		- 4-7-00	増粘安定剤	Pullulan
12.0					製造用剤			1 / *			分離して得られた多糖類である。成分はプルランで		
							Ш				ある。	2201011	
274	プロテアーゼ	たん白分解酵素		<u>*</u>	酵素	Protease	274	プロテアーゼ	たん白分解酵素		動物、魚類若しくは甲殻類の筋肉若しくは臓器より	酵素	Protease
											、冷時~温時水で抽出して得られたもの、又は糸状		
											菌 (Aspergillus melleus, Aspergillus niger,		
											Aspergillus oryzae, Aspergillus saitoi,		
											Aspergillus, sojae, Monascus pilosus, Monascus		
											purpureus, Mucor circinelloides, Mucor		
											javanicus, Mucor miehei, Mucor rouxii,		
											Penicillium citrinum, Penicillium duponti, Rhizomucor miehei, Rhizopus chinensis,		
											Rhizopus delemar, Rhizopus niveus, Rhizopus		
											oryzae)、担子菌(Pycnoporus coccineus)、放線菌		
											(Streptomyces)、細菌(Bacillus		
											amyloliquefaciens, Bacillus coagulans J4,		
											Bacillus lentus, Bacillus licheniformis,		
											Bacillus polymixa, Bacillus		
											stearothermophilus, Bacillus subtilis,		
											Bacillus thermoproteolyticus, Pseudomonas		
											paucimobilis)若しくは酵母(Saccharomyces)の培養		
											より、冷時~室温時水で抽出して得られたもの、除 南したもの、冷時~室温時濃縮したもの、冷時~室		
											国したもの、行時~至温時機構したもの、行時~至温時樹脂精製して得られたもの、若しくはこれより		
											、冷時エタノール、含水エタノール若しくはアセト		
											ンで処理して得られたもの若しくは硫酸アンモニウ		
											ム等で分画した後、脱塩処理して得られたものであ		
											<u>5.</u>		
275	(略)						275						
276	(略)	ole to a		T	Ten te		276	()	1			I	
277	ブロメライン	(削除)	<u>ブロメリン</u>	<u>*</u>	酵素	Bromelain	277	ブロメライン	<u>ブロメリン</u>			酵素	Bromelain
Ш							Ш		1		は根茎より得られた、たん白質分解酵素である。乳糖		
970	L-プロリン		プロリン	<u>*</u>	調味料	L-Proline	970	L-プロリン	 	プロリン	又はデキストリンを含むことがある。 タンパク質原料の加水分解により、又は糖類を原料	3Bn+4cl	L-Proline
218	レーノロリン		ノロリン	<u>*</u>	強化剤	r_troline	218	L-ノロリン		ノロリン	タンハク質原料の加水分解により、又は糖類を原料 とした発酵により得られたものを、分離して得られ		L-rroline
	640				が 16月9						たものである。成分は一プロリンである。	JX[L/J]	
279			1.	T	Martinet was to		279		1	1.	T	Martin San Co.	1
280	粉末セルロース		セルロース	<u>*</u>	製造用剤	Powdered	280	5.4. 1	1	セルロース		製造用剤	Powdered
Ш	(パルプを分解し					Cellulose	Ш	(パルプを分解し			するものである。		cellulose
<u> </u>	て得られた、セル				I			て得られた、セル					

							_						
	ロースを主成分と							ロースを主成分と					
	するものをいう。							するものをいう。					
	ただし、「微結晶セ							ただし、「微結晶セ					
	ルロース」を除 く。)							ルロース」を除					
281	10 /	l.					281	(略)					l
281							282	(略)					
283		1	I	l w	争小生 田 女川	I.,	283	ヘキサン			主としてn-ヘキサン (06H14) を含む。	告いた 田 女I	l.,
283	ペクチナーゼ		カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	製造用剤酵素	Hexane	283	ペクチナーゼ		カルボヒドラーゼ		製造用剤酵素	Hexane
284	ヘクテラーセ		カルホヒトラーセ	<u>**</u>	野茶	Pectinase	284	ヘクテナーセ		ガルホヒトラーセ	糸状菌 (Aspergillus aculeatus, Aspergillus alliaceus, Aspergillus awamori, Aspergillus	醉茶	Pectinase
											japonicus, Aspergillus niger, Aspergillus		
											pulverulentus, Aspergillus usamii, Rhizopus		
											oryzae, Trichoderma) 、細菌 (Bacillus subtilis		
) 、担子菌 (Corticium) 若しくは酵母 (
											Trichosporon) の培養液より、冷時~微温時水で抽		
											出して得られたもの、除菌したもの、冷時~室温時		
											濃縮したもの、又は冷時エタノール若しくは含水エ		
Ш											タノールで処理して得られたものである。		
285	ペクチン			<u>*</u>	増粘安定剤	Pectin	285	ペクチン				増粘安定剤	Pectin
											ルエステル化されたポリガラクチュロン酸などの水		
Ш											溶性多糖類を成分とするものである。ショ糖、ブド		
		<u> </u>									ウ糖、乳糖又はデキストリンを含むことがある。		
286			分解ペクチン	<u>**</u>	保存料	Pectin Digests	286	ペクチン分解物		分解ペクチン	「ペクチン」を、酵素で分解して得られたものであ	保存料	Pectin digests
	(「ペクチン」 から							(「ペクチン」 から			る。主成分はガラクチュロン酸である。		
	得られた、ガラク							得られた、ガラク					
	チュロン酸を主成							チュロン酸を主成					
	分とするものをい	1						分とするものをい					
11-	5。)						II	う。)					
287	(略) ヘスペリジナーゼ	1	I	l w	酵素	II	287 288	(略) ヘスペリジナーゼ			女业共(A	東松 士(
288	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~			<u>*</u>	許系	Hesperidinase	288	~~~~~~~E			糸状菌(Aspergillus, Penicillium decumbens)の 培養液より、冷時〜室温時水で抽出し、冷時〜室温	許系	Hesperidinase
											時濃縮後、冷時エタノールで処理して得られたもの		
											である。		
289	ヘスペリジン	ビタミンP		<u>*</u>	強化剤	Hesperidin	289	ヘスペリジン	ビタミンP		柑橘類の果皮、果汁又は種子より、室温時アルカリ	強化剤	Hesperidin
		- , , , ,			3212713	(削除)			-, ,,,,		性水溶液で抽出して得られたものである。成分はへ	5141 LD 15	Vitamin P
290	ベタイン										スペリジンである。		
	ヘタイン			*	調味料	Betaine	290	ベタイン				調味料	Betaine
11	~912			<u>*</u>	調味料	Betaine	290	ベタイン			スペリジンである。_	調味料	Betaine
291	ベニコウジ黄色素	モナスカス黄色素	紅麹	<u>*</u>	調味料	Betaine Monascus	290 291	ベニコウジ黄色素	モナスカス黄色素	紅麹	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus		Betaine Monascus
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ	モナスカス黄色素	紅麹色素		,,,,,,			ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ	モナスカス黄色素	紅麹色素	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 テのう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENI.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温		
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら		紅麹色素 モナスカス		,,,,,,	Monascus		ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら	モナスカス黄色素	紅麹色素 モナスカス	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 チのう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ		Monascus_
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ		紅麹色素		,,,,,,	Monascus		ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ	モナスカス黄色素	紅麹色素	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩筋酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。		Monascus_
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分		紅麹色素 モナスカス		,,,,,,	Monascus		ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分	モナスカス黄色素	紅麹色素 モナスカス	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 チのう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ		Monascus_
291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい		紅麹色素 モナスカス		,,,,,,	Monascus		ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい	モナスカス黄色素	紅麹色素 モナスカス	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩筋酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。		Monascus_
	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。)		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。)		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素	スペリジンである。 テンサイ(Beta vulgaris Linné)の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 テのう菌類ベニコウジカビ(Monascus purpureus WENT.)の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。 黄色を呈する。	着色料	Monascus yellow
291	ペニコウジ黄色素 (ペニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ペニコウジ色素		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹		,,,,,,	Monascus		ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素	モナスカス黄色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 チのう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。 黄色を呈する。		Monascus yellow
	ペニコウジ黄色素 (ベニコウジカ) の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ペニコウジ色素 (ベニコウジカビ		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジカビ		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus) BYNT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微星 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。 黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビ	着色料	Monascus yellow
	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ)の培養液から得られた、キサントモナシン類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニコウジカ ビの培養液から得ら	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ)の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジカゼ) の培養液から得ら		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩糖酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするもので	着色料	Monascus yellow
	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ)の培養液から得られた、キサントモナシン類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニコウジ色素 の培養液から得られた、アンカフラ	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビの培養液から得ち れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジカビ の培養液から得ら れた、アンカフラ		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離 して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus) BYNT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微星 時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られ たものである。主色素はキサントモナシン類である。 黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビ	着色料	Monascus yellow
	ペニコウジ黄色素 (ペニコウジカ学) の培養液から得ら れた、キサント をするものをいう。) ペニコウジ色素 (ベニコウジ色素 の培養液から得ら れた、アンカフラ ピン及びモナスコ	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカビら れた、キサントモ ナシン類を含ま成分 とするものをするものが う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジカで の培養液から得ら れた、アフフラ ビン及びモナスコ		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩糖酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするもので	着色料	Monascus yellow
	ペニコウジ黄色素 (ベニコウジサクト の培養液から得られた、キサントモナシン類を主成分とするものをいう。) ペニコウジ色素 (ベニコウジカサラリア) の培養液から得りられた、アンカサラフ ビン及びモナスコ ルブリンを主成分	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ) の培養液から得ら れた、キサントモ ナシン類を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素 (ベニカウジカブラ ビン及びモナスコ ルブリンを主成分		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩糖酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするもので	着色料	Monascus yellow
	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゲ)の培養液から得ら、キサント サンシ類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニコウジ色素 の培養液から得ら カた、アびモナス成分とするものをい ナブリンを主成分とするものをい	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ) れた、キサントモナシン類を主成分とするものを終 う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジ色素 (ベニカウジカビの おた、質なであった。) シ。) レン及びを表 ルンカフラコ レン及びを主成分とするものをい		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 デンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus IENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩糖酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするもので	着色料	Monascus yellow
292	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ)の培養液から得られた、類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニカウジ色素)の培養液から得り の培養液から得りラビン及びモナスコ分とするものをい レブリンを主成といっ。)	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 和麹 モナスカス	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow Monascus Color	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼの 培養液から得ら れた、料を主成分 とするものをい う。) ベニコウジ色素 (ベニカウジ色素 (ベニカウジウジカゼ の培養液から得ら れた、アンカフラ ビン及びモ主成 ルブリンを主成 とするものをい う。)	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 和麹 モナスカス	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 子のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするものである。	着色料	Monascus yellow Monascus colour
	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゲ)の培養液から得られた、キサントモナシン類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニカウジ色素)の培養液から得り の培養液から得りラビン及びを主成とするものをい ンカリンを主成とするものをい	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 和麹 モナスカス	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゼ) れた、キサントモナシン類を主成分とするものを終 う。) ベニコウジ色素 (ベニコウジ色素 (ベニカウジカビの おた、質なであった。) シ。) レン及びを表 ルンカフラコ レン及びを主成分とするものをい		紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 大のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするものである。	着色料	Monascus yellow
292	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカ得られた、キサンカの培養液かントラの とするもの・ショウシの生素 (ベニコウジ色素 (ベニカウジ色素 (ベニカウンの生素の が発表のいて、アンカフラン とするものをい カれた、アンカフコウンとするものをい カイン、アンカフコウンとするものをい カイン・アンカスティン・アンカン・アンナーを主義をい カイン・アンカスティン・アンカーので、イニバナ赤色素 (ベニバナの花が	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹 モナスカス フラボノイド フラボノイド色素	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow Monascus Color	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジウジカゼら カナントモ カナントモ カナシン類をの とするもの ションウジ色素 (ベニコウジの がかカブラ レン及びシーマココルブリンを主弦分 とするものをい カナックとするものをい カナックにある。 (ベニバナの花が、カナックを (ベニバナの花が、カナックを (ベニバナの花が、カナックを)	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹 モナスカス フラボノイド フラボノイド色素	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 テのう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするものである。 ベニパナ (Carthamus tinctorius Linné) の花から得られた、カルタミンを主成分とするものである。	着色料	Monascus yellow Monascus colour
292	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジカゲ)の培養液からやられた、類を主成分とするものをいう。) ベニコウジ色素 (ベニコウジ色素 (ベニコウジカビの培養液から得) カた、及びモナスラビン及びモナスコ とするものをいう。) ベニバナ赤色素	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹 モナスカス	<u>*</u>	着色料	Monascus Yellow Monascus Color	291	ベニコウジ黄色素 (ベニコウジサントで の培養液からりたり れた、類をま成分とするもの とするもの ベニコウン色素 (の培養アびモナスロ がとまったがあります。 ルブリンを主成り とするものをい カた、及びモナスロ がよするものをい う。)	モナスカス色素	紅麹色素 モナスカス モナスカス色素 紅麹 モナスカス	スペリジンである。 テンサイ (Beta vulgaris Linné) の糖蜜より、分離して得られたものである。成分はベタインである。 大のう菌類ベニコウジカビ (Monascus purpureus WENT.) の培養液を乾燥し、粉砕したものより、微温時弱塩酸酸性エタノールで抽出し、中和して得られたものである。主色素はキサントモナシン類である。黄色を呈する。 ベニコウジカビ (Monascus pilosus又はMonascus purpureus) の培養液から得られた、アンカフラビン類及びモナスコルブリン類を主成分とするものである。	着色料	Monascus yellow Monascus colour

П	するものをいう。)							するものをいう。)					
294		カーサマス黄色素	フラボノイド	*	着色料	Carthamus	294	ベニバナ黄色素	カーサマス黄色素	フラボノイド	ベニバナ (Carthamus tinctorius Linné) の花から	着色料	Carthamus
	(ベニバナの花か	, , , , , , , ,	フラボノイド色素	=		Yellow		(ベニバナの花か		フラボノイド色素	得られた、サフラーイエロー類を主成分とするもの		yellow
	ら得られた、サフ		紅花黄					ら得られた、サフ		紅花黄	である。デキストリン又は乳糖を含むことがある。		<u> </u>
	ラーイエロー類を		紅花色素					ラーイエロー類を		紅花色素	COS DO STATE		
	主成分とするもの		ARTICLES IN					主成分とするもの		ALCEDIA			
	をいう。)							をいう。)					
295						II.	295	(略)	1	<u>l</u>		ı	
296				*	酵素	Pepsin	296	ペプシン			動物又は魚類から得られた、たん白質分解酵素であ	酵素	Pepsin
				<u>=</u>							る。乳糖又はデキストリンを含むことがある。	H2211	
297	(暗各)						297	(略)					
298	ペプチダーゼ			<u>*</u>	酵素	Peptidase	298	ペプチダーゼ			糸状菌 (Aspergillus niger, Aspergillus oryzae,	酵素	Peptidase
				-		_					Aspergillus sojae, Rhizopus oryzae) 若しくは細		_
											菌 (Bacillus, Lactococcus lactis) の培養液より		
											、冷時~室温時水で抽出して得られたもの、除菌し		
											たもの、若しくはこれより、冷時エタノールで処理		
											して得られたもの、又は培養液を固液分離、濃縮、		
											ろ過して得られたものである。		
299	ヘマトコッカス藻		カロチノイド	**	着色料	Haematococcus	299	ヘマトコッカス藻		カロチノイド	ヘマトコッカス (Haematococcus spp.) の全藻から	着色料	Haematococcus
299	クマトコッカム楽 色素		カロチノイド色素	<u>^</u>		Algae Color	299	色素			得られた、アスタキサンチン類を主成分とするもの		algae colour
	白糸 (ヘマトコッカス		カロテノイド巴系			nigae Color		〇ペマトコッカス		カロテノイド	である。食用油脂を含むことがある。		argae Corour
	の全藻から得られ									カロテノイド色素	てめる。 及用面相を占むことがある。		
	の主裸から待られた、アスタキサン		カロテノイド色素					の全藻から得られ	1	ガロナノイト巴系			
								た、アスタキサン					
	チンを主成分とす							チンを主成分とす					
l 	るものをいう。)	0. 1.01.1.10	1 . 10. 10. 10				II 	るものをいう。)	0. 1.0.1.18	1 . 10. 10. 10	Hallette (c. 111)	wh-t-	
300	ヘミセルラーゼ	ベントサナーセ	カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	Hemicellulase	300	ヘミセルラーゼ	ペントサナーゼ	カルホヒドフーセ	枯草菌(Bacillus subtilis)、糸状菌(酵素	Hemicellulase
											Aspergillus aculeatus, Aspergillus awamori,		
											Aspergillus niger, Aspergillus oryzae,		
											Aspergillus usamii, Humicola insolens,		
											Trichoderma harzianum, Trichoderma koningii,		
											Trichoderma longibrachiatum, Trichoderma		
											viride)若しくは担子菌(Corticium,Pycnoporus		
											coccineus)の培養液より、冷時〜微温時水で抽出		
											して得られたもの、除菌したもの、冷時~室温時濃		
											縮したもの、冷時エタノール若しくは含水エタノー		
											ルで処理して得られたもの、又は培養液を固液分離		
											、濃縮、ろ過して得られたものである。		
301	ヘム鉄			<u>**</u>	強化剤	Heme Iron	301	ヘム鉄			ヘモグロビンをタンパク分解酵素で処理したものよ	強化剤	Heme iron
											り、分離して得られたものである。主成分はヘム鉄		
											である。	<u> </u>	
302				·			302	(略)			·		
303	ベントナイト		不溶性鉱物性物質	<u>**</u>	製造用剤	Bentonite	303	ベントナイト		不溶性鉱物性物質	鉱床より採掘して得られたベントナイトを乾燥して	製造用剤	Bentonite
											得られたものである。主成分は含水ケイ酸アルミニ		
L								<u> </u>	<u> </u>		<u>ウムである。</u>	<u></u>	<u> </u>
304	ホスホジエステラ			<u>*</u>	酵素	Phosphodiester	304	ホスホジエステラ			糸状菌 (Aspergillus niger, Penicillium citrinum	酵素	Phosphodiester
	ーゼ					ase		ーゼ) の培養液より、冷時~室温時水で抽出し、冷時エタ		ase
											ノールで処理して得られたものである。	<u></u>	
305		ホスファチダーゼ		<u>*</u>	酵素	Phospholipase	305	ホスホリパーゼ	ホスファチダーゼ	_	動物のすい臓若しくはアブラナ科キャベツ(酵素	Phospholipase
		レシチナーゼ							レシチナーゼ		Brassica oleracea LINNE)より、冷時〜室温時水で		
											抽出して得られたもの、又は糸状菌 (Aspergillus		1
											oryzae, Aspergillus niger) 、担子菌 (Corticium)		
											、放線菌 (Actinomadura, Nocardiopsis) 若しくは細		
											菌 (Bacillus) の培養液より、冷時~室温時水で抽出		
											して得られたもの、除菌したもの、冷時~室温時濃縮		
											したもの、又はこれより含水エタノール若しくは含		
											水アセトンで処理して得られたもの、樹脂精製後、ア		1
											ルカリ性水溶液で処理したものである。	1	
	لــــــــــــــــــــــــــــــــــــــ				l .	I	11			l	/ドスノロ/MHIX CREE UIC DV/ Cの/の。	l	l

306	(昭各)						306	(略)					j
307	(略)						307	()					
308	ポリフェノールオ キシダーゼ	フェノラーゼ		<u>*</u>	酵素	Polyphenol Oxidase	308	ポリフェノールオ キシダーゼ	フェノラーゼ		糸状菌 (Alternaria, Aspergillus niger, Coriolus) 若しくは担子菌 (Cyathus, Polyporus cinereus, Pycnoporus coccineus, Polyporus versicolor, Trametes) の培養液より、冷時~室温・静脈で抽出して得られたもの、冷時~室温・静脈にたもの、冷時・2ノール・さい、冷時・2メール・で処理して得られたもの、除菌後、冷時含水エタノールで処理して得られたもの、又は硫酸アンモニウム等で分画した後、脱塩処理して得られたものである。	酵素	Polyphenol oxidase
309	ε -ポリリシン	ε-ポリリジン	ポリリジン	*	保存料	ε-Polylysine	309	ε -ポリリシン	ε -ポリリジン	ポリリジン	が線菌(Streptomyces albulus)の培養液より、イ オン交換樹脂を用いて吸着、分離して得られたもの である。成分は・ポリリシンである。デキストリ ンを含むことがある。	保存料	ε-Polylysine
310	マイクロクリスタ リンワックス	ミクロクリスタリ ンワックス		<u>*</u>	ガムベース 光沢剤	Microcrystalli ne Wax	310	マイクロクリスタ リンワックス	ミクロクリスタリ ンワックス		石油の減圧蒸留の残渣油又は重質留出油から得られ た固形の炭化水素の混合物で、主として分枝状及び 直鎖状の飽和炭化水素からなる。		Microcrystalli ne wax
311	ガム (マクロホモプシ スの培養液から得 られた、多糖類を 主成分とするもの をいう。)	マクロホモプシス多糖類		<u>*</u>	増粘安定剤	Macrophomopsis Gum	311	ガム (マクロホモプシ スの培養液から得 られた、多糖類を 主成分とするもの をいう。)	マクロホモプシス 多糖類		マクロホモブシス属菌 (Macrophomopsis (Fisicoccum) の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものである。ショ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトースを含むことがある。	増粘安定剤	Macrophomopsis gum
312	(略)						312	(略)					
313	(略)						313						
314	素 (マリーゴールド の花から得られ た、キサントフィ ルを主成分とする		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素 マリーゴールド	<u>*</u>	着色料	Marigold Color	314 315	マリーゴールド色素 (マリーゴールド の花から得られ た、キサントフィ ルを主成分とする		カロチノイド カロチノイド色素 カロテノイド カロテノイド色素 マリーゴールド	マリーゴールド (Tagetes patula Linné若しくは Tagetes erecta Linné又はそれらの種間雑種) の 花から得られた、キサントフィルを主成分とするも のである。	着色料	Marigold colour
316	ものをいう。) マルトースホスホ リラーゼ			<u>*</u>	酵素	Maltose_ Phosphorylase	316	ものをいう。) マルトースホスホ リラーゼ			細菌 (Plesiomonas) の培養液の歯体を酵素 (リゾ チーム) 処理した後、冷時、室温時水で抽出して得 られたものである	酵素	Maltose phosphorylase
317	マルトトリオヒドロラーゼ	G3生成酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	<u>*</u>	酵素	Maltotriohydro lase	317	マルトトリオヒドロラーゼ	G3生成酵素	アミラーゼ カルボヒドラーゼ	糸状菌 (Penicillium) 又は細菌 (Bacillus subtilis , Microbacterium) の培養液より、冷時〜室温時彩達 した後、濃縮して得られたものである。	酵素	Maltotriohydro lase
318	未焼成カルシウム (貝殻、真珠の真 珠層、造礁サンゴ、 骨又は卵殻を乾燥 して得られた、カ ルシウム塩を主成 分とするものをい う。)		未焼成Ca	貝殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたもので	強化剤	Non-calcinated calcium	318	未焼成カルシウム (貝殻、真珠の真 珠層、造礁サンゴ、 骨又は卵殻を乾燥 して得られた、カ ルシウム塩を主成 分とすう。) 貝殻未焼成カル		未焼成な	貝殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたもので	強化剤	Non-calcinated calcium
	シウム 骨未焼成カルシ ウム	コーラルカルシウ <u>ム</u> サンゴカルシウム	貝Ca 骨カルシウム 骨Ca コーラルCa サンゴCa	異成な、秋幽、紀康し、初かにして行うかいこかり ある。主成分は炭酸カルシウムである。 獣骨又は魚骨を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られ たものである。主成分はリン酸カルシウムである。 ※		shell calcium Non-calcinated bone calcium Non-calcinated Coral Calcium		シウム 骨未焼成カルシ ウム サンゴ未焼成カ ルシウム		貝Ca 骨カルシウム 骨Ca コーラルカルシウ ム コーラル Ca	気がなく、秋雨、松原し、物木にして行うれたものである。主成分は支援カルシウムである。 散骨又は魚骨を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。 キ球分はリン酸カルシウムである。 イシサンゴ目(Scleractinia)の造礁サンゴを、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたものである。主成分はサルシウムである。		shell calcium Non-calcinated bone calcium Non-calcinated coral calcium

_		ı		T		T	11	1	1		T	,	1
										サンゴカルシウム			
										サンゴCa			
	真珠層未焼成カ		真珠層カルシウム	ウグイスガイ科アコヤガイ (Pinctada fucata) か		Non-calcinated		真珠層未焼成力		真珠層カルシウム	ウグイスガイ科アコヤガイ (Pinctada fucata) か		Non-calcinated
	ルシウム		真珠層Ca	ら得られる真珠の核を除いた真珠層を、殺菌、乾燥		mother-of-		ルシウム		真珠層Ca	ら得られる真珠の核を除いた真珠層を、殺菌、乾燥	-	mother-of-
				し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸		pearl layer					し、粉末にして得られたものである。主成分は炭酸	2	pearl layer
				カルシウムである。		calcium					カルシウムである。		calcium
	卵殻未焼成カル		卵殻カルシウム	卵殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたもので		Non-calcinated		卵殻未焼成カル		卵殻カルシウム	卵殻を、殺菌、乾燥し、粉末にして得られたもので	5	Non-calcinated
	シウム		卵殼Ca	ある。主成分は炭酸カルシウムである。		eggshell		シウム		卵殼Ca	ある。主成分は炭酸カルシウムである。		eggshe11
						calcium							calcium
319	ミックストコフェ	ミックスビタミン	抽出 V. E	*	酸化防止剤	Mixed	319	ミックストコフェ	ミックスビタミン	抽出 V. E	植物性油脂から得られた、d-α-トコフェロール、	酸化防止剤	Mixed
	ロール	E	トコフェロール		強化剤	Tocopherols		ロール	E	トコフェロール	d-β-トコフェロール、d-γ-トコフェロール及びd-		tocopherols
	(植物性油脂から		ビタミンE		3A1A713				抽出トコフェロー	ビタミンE	δ-トコフェロールを主成分とするものである。食	5212713	
	得られた、d-α-ト		V. E					得られた、d-α-ト	l	V. E	用油脂を含むことがある。		
	コフェロール、d-		ミックスV.E					コフェロール、d		ミックスV.E	71HILIHE E 45 C C N-67-50.		
	β-トコフェロー		抽出トコフェロー					B-トコフェロー		\ ///\.L			
	ル、d-γ-トコフェ		<u>抽山下コノエロー</u>					ル、d- y-トコフェ					
	ル、d-y-ドコンエ ロール及び d-δ-		<u>ル</u> 抽出ビタミンE						•				
	ロール及い d- o- トコフェロールを		抽口 EグミンE					ロール及び d-δ-					
								トコフェロールを					
	主成分とするもの							主成分とするもの)				
 	をいう。)				1		11-	をいう。)				1	
320	ミツロウ	オウロウ		<u>**</u>	ガムベース	Bees Wax	320		オウロウ		ミツバチ (Apis spp.) の巣から得られた、パルミ		Bees wax
	(ミチバチの巣か				光沢剤			(ミチバチの巣か			チン酸ミリシルを主成分とするものである。	光沢剤	
	ら得られた、パル	ベースワックス						ら得られた、パル	ベースワックス				
	ミチン酸ミリシル							ミチン酸ミリシル					
	を主成分とするも							を主成分とするも	,				
	のをいう。)							のをいう。)					
321	(略)	l l				·L	321	(略)	· L				L
322	ムラサキイモ色素		アントシアニン	*	着色料	Purple Sweet	322	ムラサキイモ色素		アントシアニン	サツマイモ (Ipomoea batatas Poiret) の塊根から	着色料	Purple sweet
022	(サツマイモの塊		アントシアニン色			Potato Color	022	(サツマイモの塊	1		得られた、シアニジンアシルグルコシド及びペオニ		potato colour
	根から得られた、		素			rotato coror		根から得られた、		去	ジンアシルグルコシドを主成分とするものである。		potato coroar
	シアニジンアシル		野菜色素					シアニジンアシル		野菜色素	デキストリン又は乳糖を含むことがある。	-	
	グルコシド及びペ		判术 C术					グルコシド及びペ		 利米巴米	/ イストランスは北崎を古むことがありる。		
	オニジンアシルグ							オニジンアシルグ					
	ルコシドを主成分							ルコシドを主成分					
	とするものをい							とするものをい	`				
	う。)							う。)					
323	ムラサキトウモロ	ムラサキコーン色	アントシアニン	<u>**</u>	着色料	Purple Corn	323	ムラサキトウモロ	ムラサキコーン色	アントシアニン	トウモロコシ (Zea mays Linné) の種子から得られ	着色料	Purple corn
	コシ色素	素	アントシアニン色			Color		コシ色素	素	アントシアニン色	た、シアニジン3-グルコシドを主成分とするもので		colour
	(トウモロコシの		素					(トウモロコシの		素	ある。デキストリン又は乳糖を含むことがある。		
	種子から得られ							種子から得られ					
	た、シアニジン-三							た、シアニジン-三					
	-グルコシドを主							-グルコシドを主					
	成分とするものを							成分とするものを					
	いう。)							いう。)					
324	(略)	ı		<u> </u>	1	1	324	(略)	1	1	1	1	1
325	ムラミダーゼ			*	酵素	Muramidase	325	()41)			放線菌(Actinomyces,Streptomyces)又は細菌	(藤妻	Muramidase
525	ムノ スク − ピ			<u>*</u>	ロチッド	muramruase	320	M/ \/ - E			Bacillus の培養液より、冷時〜室温時除菌後、冷時		muramiruase
1											Dactifus)の音楽仪より、行時~至温時休園後、行時~室温時濃縮し、冷時含水エタノールで抽出して得		
1											~ 至温時機縮し、希時含水エタノールで抽出して得られたものである。	Ŧ	
00.7	2.1.2-2-211-0	18431 - /110	10431	W.	The Horizon			2.1.1	1 1 2 4 3 2 /11	1043	3431-01-403-00	76.71	
326		ビタミンK2 (抽出		<u>*</u>	強化剤	Menaquinone	326	メナキノン(抽出	ビタミンK2(抽出		アルトロバクター属菌 (Arthrobacter nicotianae)	強化剤	Menaquinone
	物)	物)	ビタミンK			(Extract)		物)	物)	ビタミンK	の培養液から得られた、メナキノン-4を主成分とす		(extract)
1	(アルトロバクタ		V. K2			Vitamin K2 <u>(</u>		(アルトロバクタ	1	V. K2	<u>るものである。</u>		Vitamin K2_(
	一の培養液から得		V. K			Extract)		一の培養液から得	ļ.	V. K			extract)
	られた、メナキノ		メナキノン					られた、メナキノ	•	メナキノン			
1	ン-四を主成分と							ン-四を主成分と					
1	するものをいう。)							するものをいう。)					
327	(略)	<u>. </u>		1		*	327	(略)			1		
,	V-14/						351	v-4/					

328	(暗各)						328	(略)					l	
329	(略)						329 (時)							
330	(第2)							330 (場)						
331	(斯各)							331 (時)						
332	(略)						332	(略)						
333	(略)						333	(略)						
334	(衛各)							(略)						
335	(略)						335	(略)						
336	(略)						336	(略)						
337	ヤマモモ抽出物			<u>**</u>	酸化防止剤	Chinese	337	ヤマモモ抽出物			ヤマモモ (Myrica rubra Siebold et Zuccarini)	酸化防止剤	Chinese	
	(ヤマモモの果					Bayberry		(ヤマモモの果			の果実、樹皮又は葉から抽出して得られたものであ		bayberry	
	実、樹皮又は葉か	•				Extract		実、樹皮又は葉か			る。主成分はミリシトリンである。		extract	
	ら抽出して得られ							ら抽出して得られ						
	たものをいう。)							たものをいう。)						
338	ユッカフォーム抽	ユッカ抽出物	ユッカフォーム	<u>×</u>	乳化剤	Yucca Foam	338		ユッカ抽出物	ユッカフォーム	ユッカ・ブレビフォリア (Yucca brevifolia		Yucca foam	
	出物		ユッカ・フォーム		製造用剤	Extract		出物		ユッカ・フォーム		製造用剤	extract	
	(ユッカアラボレ					(削除)		(ユッカアラボレ			Roezl ex Ortgies) の全草から得られた、サポニン		Yucca joshua	
	センス又はユッカ シジゲラの全草か						Ш	センス又はユッカ シジゲラの全草か			を主成分とするものである。		tree	
	ら得られた、サポ						Ш	ら得られた、サポ						
	ニンを主成分とす							ニンを主成分とす						
	るものをいう。)						Ш	るものをいう。)						
339		ラカンカエキス	ラカンカ	*	甘味料	Luohanguo	339		ラカンカエキス	ラカンカ	ラカンカ (Siraitia grosvenorii C. Jeffrey ex	甘味料	Rakanka	
	(ラカンカの果実				M 2111	Extract		(ラカンカの果実			A. M. Lu & Zhi Y. Zhang (Momordica grosvenori	Ja 21-11	extract	
	から得られた、モ							から得られた、モ			Swingle)) の果実から得られた、モグロシド類を主成			
	グロシド類を主成							グロシド類を主成			分とするものである。			
	分とするものをい							分とするものをい						
	う。)							う。)						
340				<u>**</u>	酵素	Lactoperoxidas	340				脱脂生乳又は乳清より、イオン交換樹脂で分離して	酵素	Lactoperoxidas	
	ダーゼ				Marked and L. C.	e		ダーゼ			得られたものである。	Marked and L. I	е	
341	ラクトフェリン濃		ラクトフェリン	<u>*</u>	製造用剤	Lactoferrin	341			ラクトフェリン	ほ乳類の乳を脱脂分離したもの又は乳清より、精製	製造用剤	Lactoferrin	
	縮物					Concentrates		縮物			し、濃縮して得られたものである。主成分は、ラク		concentrates	
	(ほ乳類の乳から 得られた、ラクト							(ほ乳類の乳から 得られた、ラクト			トフェリンである。			
	フェリンを主成分							フェリンを主成分						
	とするものをい							とするものをい						
	5.)							5.)						
342	ラック色素	ラッカイン酸	ラック	*	着色料	Lac Color	342	ラック色素	ラッカイン酸	ラック	ラックカイガラムシ (Laccifer spp.) の分泌液か	着色料	Lac colour	
11	(ラックカイガラ			_				(ラックカイガラ			ら得られた、ラッカイン酸類を主成分とするもので			
	ムシの分泌液から	1						ムシの分泌液から			<u>ある。</u>			
П	得られた、ラッカ	1						得られた、ラッカ						
Ш	イン酸類を主成分						Ш	イン酸類を主成分						
П	とするものをい	1						とするものをい						
 	う。)							う。)						
343		羊毛ロウ		<u>*</u>	ガムベース	Lanolin	343		羊毛ロウ		ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高	ガムベース	Lanolin	
Ш	(ヒツジの毛に付	[光沢剤		Ш	(ヒツジの毛に付			級アルコールとα-ヒドロキシ酸のエステルを主成	光沢剤		
П	着するろう様物質	1						着するろう様物質			<u>分とするものである。</u>			
П	から得られた、高	1						から得られた、高						
H	級アルコールとα -ヒドロキシ酸の]					11	級アルコールとα -ヒドロキシ酸の						
	エステルを主成分						Ш	エステルを主成分						
H	とするものをい	[11	とするものをい						
П	5.)	1						5.)						
344	/ 0 /	ラムザン多糖類	ラムザン	*	増料安定剤	Rhamsan Gum	344	707	ラムザン多糖類	ラムザン	スフィンゴモナス属菌 (Sphingomonas sp.) の培養液	増料安定剤	Rhamsan oum	
	(アルカリゲネス	2 2 10L/94			HILL ALAT	THE COURT OF THE C	1	(アルカリゲネス			から得られた、多糖類を主成分とするものである。シ	J. H. A. C. A.	The same of the sa	
Ш	の培養液から得ら						Ш	の培養液から得ら			ョ糖、ブドウ糖、乳糖、デキストリン又はマルトース			
H	れた、多糖類を主						11	れた、多糖類を主			を含むことがある。	1		
-	, > , , , , , , , , , , , ,	1		l .		l .	ч—	> payer 1				ı		

	成分とするものをいう。)							成分とするものを いう。)					
345	L-ラムノース		ラムノース	<u>*</u>	甘味料	L-Rhamnose	345	L-ラムノース		ラムノース	「ルチン(抽出物)」又はミカン科アマダイダイ(Citrus sinensis OSBECK)若しくはミカン科ウンシュウミカン(Citrus unshiu MARCOV.)の果皮、樹皮若しくは北心含まれる配糖体、又は大豆油、菜種油若しくはユーン油を発酵、濃縮分離して得られたものを、加水分解し、分離して得られたものである。成分はようよノースである。	甘味料	L-Rhamnose
346	(略)				l		346	(略)			。IXXIII /A/ ハCのS。		
347	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	<u>*</u>	調味料強化剤	L-Lysine	347	L-リシン	L-リジン	リシン リジン	糖類を原料とした発酵により得られたものを、分離 して得られたものである。成分はエーリシンである。	調味料強化剤	L-Lysine
348	リゾチーム	卵白リゾチーム		<u>*</u>	酵素	Lysozyme	348	リゾチーム	卵白リゾチーム		卵白より、アルカリ性水溶液及び食塩木で処理し、 樹脂精製して得られたもの、又は樹脂処理若しくは 加塩処理した後、カラム精製若しくは再結晶により 得られたもので、細菌の細胞壁物質を溶解する酵素 である。	酵素	Lysozyme
349	リバーゼ	脂肪分解酵素	エステラーゼ	<u>**</u>	酵素	Lipase	349	リバーゼ	脂肪分解酶素	エステラーゼ	動物若しくは魚類の臓器、又は動物の舌下部より、 冷時〜微温時水で抽出して得られたもの又は糸状菌 (Aspergillus awamori, Aspergillus níger, Aspergillus oryzae, Aspergillus phoenicis, Aspergillus usamii, Geotrichum candidum, Humicola, Mucor javanicus, Mucor miehei, Penicillium camemberttii, Penicillium chrysogenum, Penicillum roquefortii, Rhizomucor miehei, Rhizopus delemar, Rhizopus japonicus, Rhizopus miehei, Rhizopus niveus, Rhizopus oryzae)、 放線菌(Streptomyces)、細菌(Alcaligenes, Arthrobactor, Chromobacterium viscosum, Pseudomonas, Serratia marcescens) 又 は静母(Candida)の培養液より、冷時〜微温時水 で抽出して得られたもの、除菌したもの、冷時〜室 温時震縮したもの、又はエタノール、含水エタノ ール若しくはアセトンで処理して得られたものであ る。	酵素	Lipase
350	リポキシゲナーゼ	リポキシダーゼ		<u>**</u>	酵素	Lipoxygenase	350	リポキシゲナーゼ	リポキシダーゼ		植物油粕より、又は糸状菌 (Rhizopus) の培養液より、水で抽出して得られたものである。	酵素	Lipoxygenase
351	D-リボース		リボース	<u>*</u>	甘味料	D-Ribose	351	D-リボース		リボース	グラム陽性細菌 (Bacillus pumilus XはBacillus subtilis) によるD-グルコースの発酵培養液より、分離して得られたものである。成分はD-リポースである。	甘味料	D-Ribose
352	流動パラフィン	ミネラルオイルホ ワイト	パラフィン	<u>*</u>	製造用剤	<u>Liquid</u> <u>Paraffin</u>	352	流動パラフィン	ミネラルオイルホ ワイト	パラフィン	石油から得た炭化水素類の混合物である。	製造用剤	<u>Liquid</u> paraffin
353	(略)						353	(略)					
354	ルチン酵素分解物 (「ルチン (抽出 物)」から得られ た、イソクエルシ トリンを主成分と するものをいう。)		イソクエルシトリ ン	<u>**</u>	酸化防止剤	Enzymatically Decomposed Rutin	354	ルチン酵素分解物 (「ルチン (抽出 物)」から得られ た、イソクエルシ トリンを主成分と するものをいう。)		イソクエルシトリ ン	ルチン (抽出物) (アズキ (Vigna angularis Ohwi et H. Ohashi) の全草、エンジュ (Sophora japonica Linné) のつぼみ若しくは花又はソバ (Fagopyrum esculentum Moench) の全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。) を酵素処理した後、精製して得られたものである。主成分はイソクエルシトリンである。		Enzymatically decomposed rutin
355	ルチン (抽出物) (アズキの全草、 エンジュのつぼみ 若しくは花又はソ バの全草から得ら れた、ルチンを主		フラボノイド ルチン		酸化防止剤着色料	Rutin (extract	355	ルチン (抽出物) (アズキの全草、 エンジュのつぼみ 若しくは花又はソ バの全草から得ら れた、ルチンを主		フラボノイド ルチン		酸化防止剤 着色料	Rutin (extract

_			1	1		_		T	1	1		1		
	成分とするものを	·						成分とするものを						
	いう。)	1					11	いう。)	ļ					
	エンジュ抽出物			<u>×</u>		Enju Extract		エンジュ抽出物			ルチン (抽出物) のうちエンジュ (Sophora japonica	Enju extract		
						Japanese					Linné) のつぼみ又は花より、水、エタノール又はメ	Japanese		
						Pagoda Tree					タノールで抽出し、溶媒を除去して得られたもので	pagoda tree		
						Extract					ある。主成分はルチンである。	extract		
	アズキ全草抽出			マメ科アズキ (Azukia angularis OHWI) の全草よ	t .	Azuki extract		アズキ全草抽出			マメ科アズキ (Azukia angularis OHWI) の全草よ	Azuki extract		
	物			り、水又はエタノールで抽出して得られたもので				物			り、水又はエタノールで抽出して得られたものであ			
	,,,			る。主成分はルチンである。							る。主成分はルチンである。			
	ソバ全草抽出物			タデ科ソバ (Fagopyrum esculentum MOENCH) の:	수	Buckwheat		ソバ全草抽出物			タデ科ソバ (Fagopyrum esculentum MOENCH) の全	Buckwheat		
	> 114 1mm19			草より、水又はエタノールで抽出して得られたもの		extract		> T-HIMHW			草より、水又はエタノールで抽出して得られたもの	extract		
				である。主成分はルチンである。	~	extract					である。主成分はルチンである。	extract		
356	(略)	L		とめる。主成がはレノンとめる。		1	356	(略)			とめる。主成がはアプラとめる。			
357	(略)						357	()40)						
358	(略)						358							
359	(略)						359	(略)						
360	レンネット	キモシン		<u>**</u>	酵素	Rennet	360	レンネット	キモシン		反すう動物の第四胃より、室温時~微温時水若しく 酵素	Rennet		
		レンニン					11		レンニン		は酸性水溶液で抽出して得られたもの、又は酵母菌			
					1						(Kluyveromyces lactis) 、糸状菌 (Mucor			
											miehei, Mucor pusillus LINDT, Mucor spp.,			
							11				Rhizomucor miehei)、担子菌(Irpex lacteus)若			
							11				しくは細菌 (Bacillus cereus, Crypnohectria			
											parasitica, Escherichia coli K-12等) の培養液			
											より、室温時~微温時水若しくは酸性水溶液で抽出			
											して得られたもの、室温時濃縮したもの、又は、冷			
											時エタノール若しくは含水エタノールで処理して得			
							1				られたものである。_			
361	L-ロイシン		ロイシン	<u>*</u>	調味料	L-Leucine	361	L-ロイシン		ロイシン	動物性若しくは植物性タンパク質の加水分解により 調味料	L-Leucine		
					強化剤						、又は糖類を原料とした発酵法により得られたもの 強化剤			
											より、分離して得られたものである。成分はエーロイ			
											<u>シンである。</u>			
362	(略)						362	(略)						
363	(略)						363							
364	(略)						364							
365	(略)						365 (時)							
509	(MII)						303	(MEL)						
※食	品、添加物等の規格基	基準(昭和34年厚生省	省告示第370号)第2	2添加物の部D成分規格・保存基準各条の規定に従う	j.									
45.45	6044 3 DATA 44600	- h 1.1.4	a delica se delica se	しょと近知能の用人は、原生必用上に20点のマカムは	マナッナはより	タムビュッハキャトー								
なお	組換 ZDNA 技術に	こよって得られた生物	がを利用して 製造さ	れた添加物の場合は、厚生労働大臣が定める安全性	番鱼の手続を	座に百か公表されて								
いな	tればならない。													
中山	系 添加物 2 -	- 9 . 即沃	天士nllllllllllllllllllllllllllllllllllll	3 (略)				別添 添加物:	0 _ 0 . PIN#	そ 沃士nthn O	-3 (略)			
力小		— Z • 万川 / / / / / / / / / / / / / / / / / /),	内4% 4%/月物	∠ 一 ∠ • 別的	\$ 何\$/川\$/J Z	— う (哈)			
							1							
			添 栄養成分等の分析方法等~別添 Shellfish Growing Areas Classified for Harvest for											
別	系 栄養成分等	等の分析方法	等~別添 S	hellfish Growing Areas Classif	ied for	Harvest for	別》	系 栄養成分等	等の分析方法	等~別添	Shellfish Growing Areas Classified for	Harvest for		
				hellfish Growing Areas Classif Regulation 48 of the Animal Pr		Harvest for (略)					Shellfish Growing Areas Classified for Regulation 48 of the Animal Products			